

令和2年度事業報告書

付属明細書

社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会

目 次

1 県民の生活課題の解決	
(1) 生活課題を抱える住民の支援	1
(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援	11
(3) 民生委員・児童委員の活動支援	13
(4) 東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備	15
2 住民の福祉活動の振興	
(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進	20
(2) 情報発信機能の強化	23
3 福祉人材の養成と確保	
(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援	23
(2) 福祉人材の確保とマッチングの強化	24
(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実	29
4 社会福祉事業経営の支援	
(1) 社会福祉事業経営の支援	32
(2) 適正なサービス評価の実施	36
5 多様な組織等との連携協働	
(1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組と サービス利用者の福祉増進	37
(2) 多様な組織等との連携協働の推進	43
6 指定管理施設の管理運営	
(1) ふれあいランド岩手の管理運営	50
7 県社協の活動基盤の強化	
(1) 県社協財政基盤の適正化	52
(2) 組織強化のための取組の推進	52
8 会務の運営	
(1) 理事会の開催	52
(2) 評議員会の開催	53
(3) 監事等による監査の実施	53
9 岩手県社会福祉大会	54

1 県民の生活課題の解決

(1) 生活課題を抱える住民の支援

① 社協・生活支援活動強化方針推進事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催

(ア) 生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：1月14日、ふれあいランド岩手、15人

内容：実践報告、意見交換

(イ) コミュニティソーシャルワーク研究会

＜第1回＞ 「第26回地域福祉実践研究セミナーin岩手・はなまき」と共催

期日、会場、参加者：8月20日～22日が新型コロナウィルス感染症の感染
防止のため令和3年度に延期

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：11月20日が新型コロナウィルス感染症の感染防止の
ため中止

＜第3回＞ 令和2年度地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会と共に

期日、会場、参加者：12月16日が新型コロナウィルス感染症の感染防止の
ため中止

(ウ) 市町村社協中期経営計画策定推進委員会

＜第3回＞ 期日、会場：7月20日、岩手県立大学

内容：中期経営計画ガイドライン素案

＜第4回＞ 期日、会場：10月8日、岩手県立大学

内容：中期経営計画策定ガイドライン（案）

＜第5回＞ 期日、会場：12月8日、岩手県立大学

内容：中期経営計画策定ガイドライン（案）、セミナーについて

イ いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業

(ア) ICT技術を活用した安否確認システムの導入推進

【令和2年度見守りセンター設置社協等】 27市町村社協、34センター

盛岡市、宮古市（川井）、大船渡市、花巻市（本所・石鳥谷・東和・大迫）、北上市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市（本所・浄法寺）、八幡平市、奥州市（江刺）、零石町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町、西和賀町、平泉町、住田町、大槌町、山田町、軽米町、野田村、九戸村、洋野町（本所・大野）、一戸町、流通センター不動産、岩手県

(イ) システム登録者数

1,260人（うち実利用者数277人）

(ウ) システム運用定例会議の開催（システム開発企業イワテシガ株・県社協）

開催日：4月8日、5月13日、6月10日、7月8日、8月11日、9月2日、10月7日、

11月4日、12月2日、1月6日、2月3日、3月3日

会場：ふれあいランド岩手

② 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業 [地域福祉企画部]

ア 地域福祉活動コーディネーター（C S W）の養成と資質向上

(ア) 地域福祉活動コーディネーター（C S W）養成研修会

期日、会場、参加者：前期 12月14日、15日、ふれあいランド岩手、24人

後期 2月9日、10日、盛岡市総合福祉センター、24人（修了者）

内容：コミュニティソーシャルワークの基本概念、個別課題・地域課題へのアセスメント、

地域共通ニーズの抽出、プランニングに関する講義及び演習

(イ) 地域福祉活動コーディネーター（C S W）継続研修会（活動報告会）

「第26回地域福祉実践研究セミナーin 岩手・はなまき」と共催

期日、会場、参加者：8月20日～22日が新型コロナウィルス感染症の感染防止のため令和3年度に延期

イ 地域福祉活動コーディネーター（C S W）の実践に係る地域アセスメント手法の習得

(ア) 支え合いマップ・インストラクター養成講座

【宮古会場】

期日、会場、参加者：第1回 11月5日、6日、イーストピアみやこ、12人

第2回 12月18日、イーストピアみやこ、9人

第3回 課題実習「自分の地域でマップ作成」、9人（修了者）

【大船渡会場】

期日、会場、参加者：第1回 11月9日、10日、大船渡市Y・Sセンター、22人

第2回 12月17日、大船渡市総合福祉センター、12人

第3回 課題実習「自分の地域でマップ作成」、12人（修了者）

内容：支え合いマップの基礎知識の講義、支え合いマップづくり実践に向けた演習、
演習結果を基にした地域の生活課題及び解決策の整理等に係る意見交換

(イ) 支え合いマップを活用した取組検討会

新型コロナウィルス感染症の感染防止のため中止

ウ 福祉コミュニティの確立に向けた体制づくりの支援

(ア) 福祉コミュニティサポートアドバイザー派遣

a 紫波町社会福祉協議会

実施日：7月3日、8月21日

支援内容：役職員研修会講師、中間見直し作業委員会ファシリテータ

b 西和賀町社会福祉協議会

実施日：7月29日、3月15日

支援内容：第4期地域福祉計画及び地域福祉活動計画策定委員会への助言

c 二戸市社会福祉協議会

実施日：7月7日

支援内容：生活支援体制整備事業の推進体制等への助言

d 九戸村地域包括支援センター

実施日：7月21日

支援内容：九戸村民児協研修「支え合いマップの活用」の講師

③ 市町村社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催（再掲）

（ア）生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：1月14日、ふれあいランド岩手、15人

内容：実践報告、意見交換

（イ）コミュニティソーシャルワーク研究会

＜第1回＞ 「第26回地域福祉実践研究セミナーin岩手・はなまき」と共催

期日、会場、参加者：8月20日～22日が新型コロナウイルス感染症の感染
防止のため令和3年度に延期

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：11月20日が新型コロナウイルス感染症の感染防止の
ため中止

＜第3回＞ 令和2年度地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会と共に

期日、会場、参加者：12月16日が新型コロナウイルス感染症の感染防止の
ため中止

（ウ）市町村社協中期経営計画策定推進委員会

＜第3回＞ 期日、会場：7月20日、岩手県立大学

内容：中期経営計画ガイドライン素案

＜第4回＞ 期日、会場：10月8日、岩手県立大学

内容：中期経営計画策定ガイドライン（案）

＜第5回＞ 期日、会場：12月8日、岩手県立大学

内容：中期経営計画策定ガイドライン（案）、セミナーについて

イ 生活福祉資金貸付事業体制整備の在り方検討委員会の開催

＜第1回＞ 期日、会場：5月18日、ふれあいランド岩手

内容：生活福祉資金の現状と検討委員会設置の主旨と目的

生活福祉資金と生活困窮者自立支援事業等の他施策との役割の整理

生活福祉資金相談員業務の実際と業務改善等

＜第2回＞ 期日、会場：6月11日、ふれあいランド岩手

内容：生活困窮者自立支援制度との効果的な連携、役割分担

＜第3回＞ 期日、会場：6月25日、都南公民館

内容：今後の生活福祉資金貸付事業体制に係る岩手県との協議内容（報告）、

「今後の生活福祉資金事業体制整備の在り方について～生活困窮者自
立支援制度との連携を踏まえて～」（素案）の内容について

ウ 懇談会の開催

（ア）岩手県保健福祉部と市町村社会福祉協議会部会との懇談会

期日、会場、参加者：9月10日、岩手県民会館、社協4人、県保健福祉部10人

内容：市町村社会福祉協議会の取組に係る要望（6項目）

（イ）市町村社会福祉協議会会长懇談会

期日、会場、参加者：8月3日、ニューカリーナ、30社協44人

内容：基調報告、説明、分散会

エ 役職員研修会の開催

(ア) 市町村社会福祉協議会基礎研修会

期日、会場、参加者：8月31日、9月1日、ふれあいランド岩手、13社協21人

内容：講演、社会福祉協議会の基礎知識に関する説明、先輩職員による活動事例紹介等

(イ) 市町村社協中期経営計画策定推進セミナー

期日、会場、参加者：3月16日、岩手県立大学、30人

内容：説明、講義、実践報告

オ 事務局長・地域福祉担当課長会議の開催

期日、会場、参加者：9月29日、ふれあいランド岩手、33社協52人

内容：説明、講義

カ 県内市町村社協職員の災害対応初動チームの編成

登録者数：32社協52人

④ 生活福祉資金貸付事業 [地域福祉企画部]

ア 貸付実績及び償還実績

市町村社協及び自立相談支援機関等と連携し、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長等を図るため、資金の貸付と必要な相談支援を行った。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収した方への特例貸付（令和2年3月25日受付開始）を実施したことにより、申請や相談が非常に多い状況が継続し、市町村社協の協力を得て対応を行った。

(ア) 生活福祉資金貸付事業

a 総合支援資金

(a) 貸付実績

年度末時点の貸付中件数は2,580件、貸付中金額は1,260,104千円。このうち、最終償還期限が到来しているが償還完了していない件数は276件。

【令和2年度の申請及び貸付決定状況】

区分	申請	決定
件 数	1,523 件	1,516 件
金 額	971,855 千円	968,480 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
生活支援費 (うち特例貸付)	1,515 件 (1,505 件)	968,432 千円 (965,990 千円)
住宅入居費	0 件	0 千円
一時生活再建費	1 件	48 千円
合 計	1,516 件	968,480 千円

(b) 偿還実績

償還金は24,239千円、対前年度比3,311千円減、償還完了件数は43件。償還率は年度合計7.8%で、対前年度比1.5ポイント減。

b 福祉資金

(b) 貸付実績

年度末時点の貸付中件数は 6,595 件、貸付中金額は 1,325,015 千円。このうち、最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 1,627 件。

【令和 2 年度の申請及び貸付決定状況】

区分	申請	決定
件 数	4,259 件	4,191 件
金 額	790,355 千円	778,564 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
福祉資金	90 件	67,115 千円
緊急小口資金 (特例貸付)	4,101 件 (3,954 件)	711,449 千円 (699,857 千円)
合 計	4,191 件	778,564 千円

(c) 償還実績

償還金は 83,293 千円、対前年度比 914 千円増、償還完了件数は 322 件。償還率は年度合計 25.9% で、対前年度比 0.3 ポイント増。

c 教育支援資金

(a) 貸付実績

年度末時点の貸付中件数は 7,238 件、貸付中金額は 5,028,926 千円。このうち、最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 381 件。

【令和 2 年度の申請及び貸付決定状況】

区分	申請	決定
件 数	396 件	375 件
金 額	336,714 千円	315,871 千円

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
教育支援費	194 件	246,120 千円
就学支度費	181 件	69,751 千円
合 計	375 件	315,871 千円

(b) 償還実績

償還金は 302,579 千円、対前年度比 2,089 千円増、償還完了件数は 184 件。償還率は年度合計 48.8% で、対前年度比 2.3 ポイント減。

d 不動産担保型生活資金

令和 2 年度の新規貸付決定は 2 件 11,235 千円。(いずれも要保護世帯向け)

貸付中債権の状況は次のとおり。

資金種	貸付中件数	貸付限度額の合計	備考
一般	4 件	54,677 千円	平成 14 年度創設
要保護世帯向け	47 件	233,030 千円	平成 19 年度創設
合 計	51 件	287,707 千円	

(イ) 離職者支援資金貸付事業（平成 12 年度創設／平成 21 年 9 月廃止）

年度末時点での債権の状況は、貸付中件数が 23 件、貸付中金額が 11,627 千円。このうち、最終償還期限が到来しているが償還完了していない件数は 23 件。

償還金は 552 千円、対前年度比 880 千円減、償還完了件数は 0 件。償還率は、年度合計 4.5% で、対前年度比 5.2 ポイント減。

(ウ) 臨時特例つなぎ資金貸付事業（平成 21 年度創設）

a 貸付実績

年度末時点での貸付状況は、貸付中件数が 7 件、貸付中金額が 387 千円。このうち、最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 7 件（100%）。

【令和 2 年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	0 件	0 件
金 額	0 千円	0 千円

b 儚還実績

償還金は 0 千円、対前年度比 30 千円減。

イ 事業運営

(ア) 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

a 新任者研修

特例貸付の対応及び新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、市町村社協への資料送付（制度説明資料）のみ対応。

b 現任者研修

特例貸付の対応及び新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(イ) 儚還指導の実施及び債権管理

a 儚還指導の実施

特例貸付の対応及び新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

b 儚還免除、償還猶予

・ 儚還免除決定件数 24 件（借受人の自己破産等による）

・ 儚還猶予決定件数 92 件（借受人の進学や留年、償還困難等による）

(ウ) 生活福祉資金相談員の配置

16 市町村社協 23 人、県社協 2 人（計 25 人）

(エ) 貸付審査等運営委員会の開催

生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

小委員会 開催 1 回

(オ) 県民への広報活動

本会のホームページや広報紙で制度周知を行ったほか、各市町村社協において住民への周知

を行った。

また、全体版パンフレット・教育支援資金リーフレットを作成し、関係機関、関係団体へ配布した。教育支援資金リーフレットは、中学校、高等学校、大学、専門学校等教育機関へも配布した。

⑤ 福祉人材確保等貸付事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士及び社会福祉士等の人材の養成と確保を目的とした貸付け、介護職として一定の知識及び経験を有する者が再就職するための準備に必要な費用の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和2年度		備考
	新規貸付数	貸付金額	
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	39人	58,914千円	
介護福祉士県内養成施設	33人	56,040千円	
県内養成施設	29人	48,040千円	
県外養成施設	4人	8,000千円	
社会福祉士県内養成施設	6人	2,874千円	
介護福祉士実務者研修受講資金	49人	7,303千円	
再就職準備金	14人	4,560千円	
合 計	102人	70,777千円	

(イ) 貸付状況（令和3年3月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	200人	55人	—	237人	29人	47人	568人
介護福祉士実務者研修受講資金	156人	—	3人	17人	9人	16人	201人
再就職準備金	19人	—	—	11人	—	1人	31人

イ 保育士修学資金貸付等事業

岩手県で保育士業務に従事する者の養成・確保や、保育士の就職・就労支援を図るため、保育士修学資金のほか、保育所等への就職準備及び未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業の利用料金貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和2年度	
	貸付数	貸付金額
保育士修学資金	20人	28,387千円
県内養成施設	15人	22,557千円
県外養成施設	5人	5,830千円
就職準備金	—	—
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	—
合 計	20人	28,387千円

(イ) 貸付状況（令和3年3月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
保育士修学資金	40人	41人	ー	ー	2人	3人	86人
就職準備金	2人	ー	ー	4人	ー	ー	6人
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	ー	0人	ー	1人	0人	0人	1人

ウ ひとり親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業

ひとり親家庭の安定した就労による自立を促進するため、高等職業訓練促進給付金受給者を対象に、養成機関への入学準備金及び資格取得した場合の就職準備金の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種類	令和2年度	
	貸付数	貸付金額
入学準備金	4人	2,000千円
就職準備金	0人	ー
計	4人	2,000千円

(イ) 貸付状況（令和3年3月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
17人	8人	ー	0人	2人	27人

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設等入所中又は里親等へ委託中の者及び児童養護施設等を退所した者又は里親等への委託が解除された者に対する貸付けを実施。主な内容は、大学等に在学する者に対する生活支援費の貸付け、就職者に対する生活支援費及び家賃支援費の貸付け、就職に向けて資格の取得を希望する者に対する資格取得支援費の貸付けの実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種類	令和2年度		
	貸付件数	貸付金額	実人数
生活支援費	2件	1,680千円	家賃+生活+資格1人、
家賃支援費	2件	1,480千円	生活のみ1人、家賃のみ1人、
資格取得支援費	5件	1,213千円	資格のみ4人
計	9件	4,373千円	7人

(イ) 貸付状況（令和3年3月現在）

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
12人	13人	1人	3人	1人	30人

⑥ IWATEあんしんサポート事業 [福祉経営支援部]

ア 組織の状況

参画法人：83 法人

あんしんサポート相談員：235 人

特別会費（拠出金額）：4,510,000 円

イ 活動状況

- | | |
|----------------------------|----------------|
| (ア) 生活困窮世帯等への支援 | 108 件 |
| (イ) 中間的就労の場「就労準備ボランティア」の実施 | 12 法人、体験者数 3 人 |
| (ウ) 子どもの居場所「フリースペース」の実施 | 3 法人、利用者数 0 人 |

ウ 研修の実施

- (ア) あんしんサポート相談員養成研修

<第1回> 期日、会場、参加者：新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

<第2回> 期日、会場、参加者：1月 28 日、岩手県民会館、28 人

- (イ) 生活困窮者支援研修会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

エ 市町村社協等関係機関とのネットワーク会議（情報交換会）

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

オ 会務の運営

- (ア) IWATE・あんしんサポート事業運営委員会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

- (イ) IWATE・あんしんサポート事業連絡会議（県保健福祉部四課との情報交換）

期日、会場：2月 10 日、岩手県県民会館

⑦ 盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 相談件数等

- | | |
|---------|-------|
| 新規相談 | 230 件 |
| 自立プラン作成 | 66 件 |
| 家計プラン作成 | 13 件 |
| 就労・增收率 | 111% |

イ 支援調整会議の開催

会場：県央 5 町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の社協、町役場会議室等

内容：自立支援プランの適切性及び終結評価等の協議

出席者：盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課、各町生活保護担当課、地域包括支援センタ

一、障害者地域生活支援センター、ハローワーク、社会福祉法人、弁護士、町社協、

県社協等（ケースに応じて随時関係機関の参集範囲を変更）

期日：雫石町 5 月（書面開催）、9 月 17 日、3 月 4 日

葛巻町 5 月（書面開催）、6 月 30 日、7 月 28 日、12 月 10 日、3 月 24 日

岩手町 5 月（書面開催）、9 月 10 日、10 月 23 日、3 月 17 日

紫波町 4 月（書面開催）、5 月（書面開催）、6 月 15 日、7 月 20 日、8 月 17 日、
9 月 14 日、10 月 19 日、11 月（書面開催）、12 月 21 日、1 月 18 日、
2 月 15 日、3 月 15 日

矢巾町 4 月（書面開催）、5 月（書面開催）、6 月 17 日、7 月 7 日、8 月 4 日、9 月 8
日、10 月 6 日、11 月 10 日、12 月 8 日、1 月 12 日、2 月 2 日、3 月 2 日

ウ その他

支援調整会議と併せて開催される会議

- ・矢巾町自殺予防ネットワーク会議・多機関連携ネットワーク会議
- ・紫波町自殺予防ネットワーク会議

⑧ 障がい者不利益取扱解消支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業

相談実績：0 件

イ 障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修事業

期日、会場、参加者：11 月 30 日、アートホテル盛岡、49 人

内容：不利益な取扱いに対する相談対応の概要、講演、パネルディスカッション

⑨ ひとり親家庭等総合支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ひとり親家庭の多様なニーズに包括的に対応し、支援の必要な家庭が様々なサービスを有効に活用できるよう、民間団体や関係機関の緊密な連携による相談支援体制を整備するため令和 2 年 9 月から事業を実施した。

ア 岩手県ひとり親家庭等サポートネットワーク会議の開催

地域におけるひとり親家庭等を支える仕組みづくりを推進するネットワークを構築するため、関係団体等の代表者によるネットワーク会議を開催した。

期日、会場：2 月 1 日、ふれあいランド岩手

内容：ひとり親支援の課題等の検討

イ 地域における連携体制の構築支援

広域振興局保健福祉環境部等（9 圏域）において設置を予定する「地域ネットワーク会議」の開催に係る支援を行う。

今年度は、二戸地域ひとり親家庭等サポートネットワーク会議書面開催へ出席した。（次年度オブザーバー参加の依頼あり）

ウ 支援者研修の実施

地域でひとり親家庭等の支援に携わる民生委員・児童委員などの対応力向上のため、次とのおり書面研修を実施した。

令和 2 年度市町村民児童委員協議会会長・副会長研修（書面研修）での資料配布

エ ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応（令和 3 年 1 月から受付）

ひとり親家庭等やその支援者を支援するため、ひとり親家庭等に関する相談支援及び相談対応を次のとおり行った。

相談対応件数：18 件（延べ件数 51 件）

電話等での相談対応のほか、相談者への訪問でも対応

オ ひとり親家庭等支援施策ガイドブックの作成及び情報発信

（ア）ひとり親家庭のための支援策ガイドブック作成及び配布

20,000 部を作成し、関係機関・団体等へ配布

（イ）ひとり親家庭等総合相談支援事業周知ちらし（関係機関向け）の配布

- (ウ) 本会ホームページ及び広報紙「パートナー」での事業内容の PR
- (エ) ひとり親向け事業 PR リーフレットの作成
10,000 部を作成し、関係機関・団体等へ配布

(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援

① 日常生活自立支援事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

県内 12 基幹社協に専門員 20 人、生活支援員 193 人を配置し、認知症高齢者等、判断能力の低下した方に対する援助を実施。

【実利用者数】令和 3 年 3 月 31 日現在

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
328 人	288 人	362 人	28 人	1,006 人

ア 契約締結審査会の開催

回数、会場、参加者：年 12 回（うち 2 回書面開催）、岩手県産業会館、委員 6 人及び基幹社協専門員等

イ 専門員情報交換会

期日、会場：毎月契約締結審査会後に開催（4 月～7 月、11 月～12 月は中止）、岩手県産業会館

参加対象者：専門員等 25 人

テーマ：事業説明、各地域における支援の実施状況の共有等

ウ 定期業務点検

期間、対象：8 月～12 月、利用者ケースのある全市町村社協（支所、支部、事務所等を含む）

点検内容：日常的金銭管理の状況、個別ケース検討等

エ 事業説明等（県社協対応分）

運営監視小委員会、高齢者・障がい者なんでも 110 番、県高齢者権利擁護ネットワーク会議、各基幹社協関係機関連絡会議等

② 権利擁護人材育成事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 研修会

（ア）新任専門員研修会

開催方法、資料送付先：資料配布による開催、12 基幹社協

内容：日常生活自立支援事業の概要、初期相談から契約・解約までの実務等

（イ）新任生活支援員研修会

開催方法、資料送付先：資料配布による開催、12 基幹社協

内容：事業概要と実務、利用者特性と関わり方のポイント等

（ウ）専門員研修会

期日、会場、参加者：8 月 7 日、マリオス、19 人

内容：講義／権利擁護制度の運用におけるアセスメント／事例検討等

（エ）専門員・生活支援員研修会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

③ 成年後見地域ネットワーク構築等支援事業 [地域福祉企画部]

ア 成年後見コーディネーターの取組 (10 基幹社協に 0.5 人ずつ配置)

日常生活自立支援事業利用者等に対する成年後見制度利用支援実績

支援者数 : 31 人

【内訳】利用開始 21 人 (うち日常生活自立支援事業利用者 19 人)、他機関支援引継ぎ 7 人、
取下げ 3 人

イ 先進地視察研修

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

ウ 全県を対象とした岩手県成年後見制度利用促進ネットワーク会議の開催への協力 (県主催)

期日、会場、参加者 : 第 1 回／7 月 29 日、岩手県水産会館、委員 24 人

第 2 回／書面開催、委員 26 人

④ 成年後見制度利用促進研修事業 [地域福祉企画部]

成年後見制度利用促進研修を県ホームページへの資料掲載及び関係機関等への資料送付により開催。

資料送付先 : 岩手県成年後見制度利用促進ネットワーク会議委員 26 人、県内 33 市町村社協

⑤ 福祉サービス苦情解決事業 [福祉サービス運営適正化委員会]

ア 苦情解決小委員会の開催

委員数・開催回数 : 委員 6 人 計 7 回開催

内容 : 苦情受付状況報告、苦情案件対応協議、巡回訪問・情報交換会実施報告

イ 福祉サービスの苦情を考えるセミナーの開催

期日、会場、参加者 : 9 月 28 日、ホテルニューカリーナ、79 人

内容 : サービスの質の向上に関する講演、事業所の苦情解決に向けた取組紹介

ウ 福祉サービス苦情解決情報交換会 (基礎研修) の開催

開催回数・参加者数 : 計 9 回 (集合 8、リモート 1)、222 人 (県内各地で開催)

内容 : 苦情解決の仕組み、各事業所の苦情事例、対応等に関する情報交換

エ 福祉サービス苦情解決情報交換会 (応用研修) の開催

期日、会場、参加者 : 10 月 26 日、アイーナ、42 人

11 月 11 日、アイーナ、46 人

内容 : 事業所における苦情事例検討及び講師による助言

オ 事業所巡回訪問の実施

実施事業所 : 40 か所

内容 : 苦情解決事業取組状況の確認、改善に向けた助言、情報提供等

カ 事業所研修会等に対する職員派遣

派遣回数・参加者数 : 計 8 回、159 人

キ 苦情・相談の受付・解決の概要

「苦情相談」及び「一般相談 (問合せや相談等で苦情に至らなかったもの)」の件数は 109

件。その内訳は苦情相談 42 件、一般相談 67 件となった。

前年度との比較では「苦情相談」が 6 件減少、一般相談が 5 件増加した。

(ア) 受付別件数

受付方法						合計	
来所		書面		電話			
苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般
3	4	2	1	37	62	42	67

(イ) 苦情内容別・解決結果件数

苦 情 内 容	受付	苦情解決の結果					
		① 助 言 申 入	② 紹 介 伝 達	③ あ つ せ ん	④ 通 知 事 へ	⑤ そ の 他	⑥ 継 続 中
内 訳	①サービスの内容（職員の接遇）	22	21			1	
	②サービスの内容（サービスの質や量）	10	9			1	
	③利用料	1	1				
	④説明・情報提供	1	1				
	⑤被害・損害	3	3				
	⑥権利侵害	4	3		1		
	⑦その他	1	1				
合計		42	39	0	0	1	2

ク 運営監視小委員会の開催

委員数・開催回数：委員 8 人 開催 5 回（対象：県社協及び 5 基幹社協）、現地調査 7 回

内容：岩手県社会福祉協議会が市町村社協福祉協議会と連携して実施する日常生活自立支援

事業の運営を監視し、必要に応じて助言、現地調査及び勧告を行う。

ケ 運営適正化委員会全体会の開催

委員数・開催回数：委員 14 人 開催 2 回（うち 1 回は書面開催）

内容：事業報告、事業計画、委員長の互選等

コ 委員選考委員会の開催

委員数・開催回数：委員 6 人 開催 2 回（うち 1 回は書面開催）

内容：運営適正化委員の選考

(3) 民生委員・児童委員の活動支援

① 民生委員児童委員活動支援事業 [地域福祉企画部]

岩手県民生委員児童委員協議会事務局を受託し、民生委員活動費等の交付事務を担った。また、県の補助又は委託等を受け、民生委員・児童委員の資質向上及び活動支援のための事業を行った。

ア 研修会等

(ア) 主任児童委員研修会

期日、会場、参加者：9 月 15 日、16 日（両日午前、午後同内容で計 4 回開催）、アイーナ、

156 人

内容：子どもと子育て家庭を取り巻く現状と主任児童委員に関する講義

子育てサロンに関する取組をもとにした事例学習

(イ) 中堅民生委員児童委員研修会

期日、会場、参加者：10月8日、9日（両日午前、午後同内容で計4回開催）、アイーナ、145人

内容：相談の受け方、コミュニケーション技法に関する講話

(ウ) 市町村民生児童委員協議会会長・副会長研修会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、集合研修から書類配布による研修に変更
対象者：民児協会長・副会長 560人

内容：災害時やコロナ禍における支援のポイント等に関する講義・演習

(エ) 新任民生委員児童委員研修会

開催地域	期 日	会 場	参加者
盛岡	7月6日（午後）	ふれあいランド岩手	405人
	7月7日（午前、午後）	アイーナ	
	7月8日（午前、午後）		
宮古	7月31日（午前、午後）	宮古市民文化会館	60人
久慈	8月20日（午前、午後）	久慈市総合福祉センター	73人
一関	8月25日（午後）	一関文化センター	123人
奥州	8月26日（午前、午後）	Zホール	132人
北上	8月27日（午後）	さくらホール	70人
陸前高田	8月31日（午後）	陸前高田市コミュニティホール	54人

内容：民生委員・児童委員、主任児童委員の役割と地域福祉活動に関する講義、委員活動に関わる実務に関する説明

(オ) 民生委員等を対象とした相談事業研修会

盛岡市内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことに伴い、集合研修の開催中止を決定し、書類配布による研修を実施

対象者：参加申込者及び県民児協正副会長、45人

内容：「事例学習を通して自分の考えの幅を広げよう！」というテーマに関する資料配布
参加者から提出のあった事例に行使のコメントを加え、「私が対応した相談事例集」
を作成（3,910部）、配布

(カ) 岩手県保健福祉部と岩手県民生委員児童委員協議会との懇談会

期日、会場、参加者：11月19日、岩手県民会館、16人

内容：民生委員・児童委員の欠員解消、負担軽減及び将来的ななり手の確保等に関する懇談

イ 指定民生委員児童委員協議会の推進

(ア) 県社協指定

指定期間：令和1～2年度

指定民児協：盛岡市・乙部地区民児協、花巻市・湯口地区民児協

(イ) 県民児協指定

指定期間：令和2～3年度

指定民児協：指定 0 件

(指定 1 件あったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため取下げ)

ウ 互助事業の実施

民生委員が死亡・傷害、被災した際のほか、配偶者が死亡した際、弔慰金や見舞金を給付するとともに、一斉改選退任者及び任期途中退任者へ慰労金の給付を行った。

給付件数、金額：95 件、1,044,000 円

内訳：公務傷害	2 件	60,000 円
公務疾病	1 件	50,000 円
一般死亡	5 件	150,000 円
配偶者死亡	13 件	195,000 円
一般傷病	36 件	348,000 円
災害見舞	1 件	100,000 円
退任慰労	37 件	141,000 円

エ 助成事業

(ア) 広域民生児童委員研修等事業費の助成

県内 9 広域圏での研修事業の実施を支援するため、民生児童委員協議会又は社会福祉協議会に助成金を交付した（なお、胆江広域は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、研修会は開催中止となり、交付決定及び送金済みの助成金は県民児協へ返還された）。

(イ) 市町村民生児童委員 OB 会への助成

市町村民生児童委員 OB 会組織・活動状況調査により活動を確認した 10 市町の 15 組織に対し、助成金を交付した。

オ 東日本大震災に関する対応（県補助事業）

(ア) 沿岸地区民児協訪問事業

沿岸市町村の 2 市町村民児協を訪問し、これまでの活動の振り返りや活動上の課題等について委員相互に意見交換や助言し合うなどしながら、民生委員の精神的負担の軽減を図った。

- ・大槌町（1 月 13 日）、釜石市（2 月 9 日）
- ・陸前高田市、大船渡市、宮古市への訪問は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止となった。
- ・訪問内容をまとめた報告書を 400 部発行した。

(イ) 活動負担増分補助事業

震災で増加した活動に対する経済的負担の軽減のため、当該負担増加分の活動費補助を行った。

・補助決定者数、金額：2 人、88,506 円

（4）東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備

① 東日本大震災被災者生活支援事業 [地域福祉企画部]

ア 生活支援相談員の配置

配置人数 108 人（3 月末、うち県社協 4 人）

活動対象世帯 3,408 世帯

支援延べ回数 89,017 回

イ 研修会の開催

(ア) 新任研修（新型コロナウイルス感染症の感染防止のため 1 回に縮小、社協部会「社会福祉協議会職員基礎研修会」に統合

期日、会場、参加者：8 月 31 日、9 月 1 日、ふれあいランド岩手、21 人

内容：組織運営や地域における役割を理解し、業務を担う上で必要な基本的知識や心がまえを習得する。

(イ) 現地事例検討会

期日、会場、参加者：8 月 27 日、宮古市総合福祉センター、16 人

8 月 28 日、陸前高田市コミュニティホール、32 人

内容：参加者が提出した事例による事例検討。事例検討を体験し、学び合いの意義を確認し、アセスメント力の向上を図る。

(ウ) ファシリテーション研修会（全 3 回コース）

期日、会場、参加者：<第 1 回>7 月 20 日、ふれあいランド岩手、25 人

<第 2 回>8 月 24 日、ふれあいランド岩手、26 人

<第 3 回>9 月 25 日、ふれあいランド岩手、23 人

内容：会議の進行や合意形成を得る過程の技術向上を図り、サロンや住民懇談会などにおいて住民の主体性醸成を促すためのファシリテーション技術を学ぶ講義と演習。

(エ) 生活支援相談員活動研究会

期日、会場、参加者：3 月 23 日、アートホテル盛岡、36 人

内容：講義、実践発表により、活動の振り返りと今後の活動の方向性を検討する。

(オ) アセスメント基準研修会（新型コロナウイルス感染症の感染防止のため沿岸部リーダー等情報交換会に統合）

ウ 生活支援相談員担当課長等意見交換会の開催

期日、会場、参加者：8 月 25 日、アイーナ、21 人

内容：県地域福祉課から「第 2 期復興・創生期間における被災者支援の方向性」の説明、今後の被災者支援の方向性についての意見交換。

エ 情報交換会の開催

【リーダークラスの生活支援相談員向け（新型コロナウイルス感染症の感染防止のため 1 回に縮小）】

期日、会場、参加者：10 月 19 日、釜石情報交流センター 釜石 PIT、31 人

内容：今後の被災者支援の方向性に関する情報共有等

【地域見守り支援拠点生活支援相談員向け】

期日、会場、参加者：10 月 19 日、釜石情報交流センター 釜石 PIT、33 人

内容：地域見守り支援拠点の取組実施状況の情報共有

【内陸生活支援相談員向け】

期日、会場、参加者：<第 1 回> 8 月 26 日、ホテルシティプラザ北上、10 人

<第 2 回> 2 月 16 日、ふれあいランド岩手、12 人

内容：活動の振り返り、思いの共有等

オ 令和2年度東日本大震災被災者実態調査研究の実施

(ア) 被災者実態調査研究委員会（委員13人）

期日：7月7日、12月10日、2月2日

内容：住民アンケート項目の検討及び集計・分析、アセスメント基準票4,780件の集計・分析、調査研究報告書の発行（600部 その他、本会ホームページに掲載）

(イ) 生活支援相談員活動マニュアル策定委員会（委員11人）

期日：7月27日、1月（書面開催）、3月22日

内容：活動マニュアルの検討、マニュアルの作成（内部印刷 県内及び全国都道府県・指定都市社協、関係機関に送付。その他、本会ホームページに掲載）

カ 地域見守り支援拠点の設置

宮古市1、大船渡市2、陸前高田市1、釜石市1、大槌町1、山田町3 計9か所

キ 令和3年度以降の事業方針 市町村社協ヒアリング訪問、県・市町村との意見交換会

(ア) 市町村社協ヒアリング訪問

5月22日（宮古市、大船渡市、山田町）、5月28日（陸前高田市、釜石市、大槌町）、

6月1日（花巻市、北上市、一関市）、6月8日（田野畠村、野田村）

(イ) 県・市町村との意見交換会

8月26日（大船渡市、陸前高田市）、9月1日（宮古市、山田町）、9月3日（田野畠村、

野田村）、9月15日（一関市）、9月18日（花巻市、北上市）9月23日（釜石市、大槌町）

内容：第2期復興・創生期間における被災者支援の方向性等についての意見交換

ク 多職種・多機関による被災者支援

(ア) 災害公営住宅等自治会設立準備・継続支援への出席

計25回：盛岡市県営南青山、北上市県営黒沢尻、陸前高田市県営栃ヶ沢、山田町県営大沢・県営豊間根

(イ) 各種連絡会議・打合せ・マップ作成等

計48回：宮古市、大船渡市、北上市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、
もりおか復興支援センター、内陸避難者支援ネットワーク会議、県庁ミーティング、大規模災害公営住宅自治会交流会等

(ウ) アドバイザーの派遣

計6回：宮古市（7月20日、10月27日、11月24日、12月17日）

大船渡市（12月1日、1月20日）

内容：事例検討会、災害公営住宅コミュニティ支援、震災10年の振り返りと今後の方向性を検討する研修会

ケ 「生活支援相談員ニュースレター」の発行

発行月：4月～3月 計9回発行

配布対象：生活支援相談員、市町村社協、県、他県社協、全社協等関係機関

発行部数：186部／1回（その他、本会ホームページに掲載）

コ 生活支援相談員活動事例集2020の発行

発行月：3月

内容：講師助言コメント付きの生活支援相談員活動事例、拠点の取組・支え合いマップの取

組のレポート、活動の振り返りレポート、事業の収束に伴う社協の取組等

配布対象：県内生活支援相談員、県内市町村社協・行政、都道府県・指定都市社協

発行部数：450部

サ 被災地民生委員児童委員協議会支援

シ 親族里親支援

ス 生活支援相談員活動実績 対象 3,408 世帯 支援延べ回数 89,017 件

セ 現地連絡会議への出席

市町村	開催日
宮古市	7月20日、8月31日、9月24日、12月17日
釜石市	6月18日、6月24日、7月16日、7月22日、9月10日、9月17日、10月8日、10月15日、11月11日、12月17日、1月14日、2月10日、3月10日

② 災害復興基金事業 [総務部]

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金のうち、特に使途明示のない寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

ア 復興基金積立額の推移

(単位：千円)

年度	積立額	取崩額	年度末残高
～平成 22 年度	5,559	—	5,559
平成 23 年度	150,662	0	156,221
平成 24 年度	19,263	28,000	147,484
平成 25 年度	32,151	13,047	166,588
平成 26 年度	7,205	10,141	163,652
平成 27 年度	5,555	11,398	157,809
平成 28 年度	5,083	22,694	140,198
平成 29 年度	4,865	14,921	130,142
平成 30 年度	349	11,290	119,201
令和元年度	7,298	10,413	116,086
令和 2 年度	4,107	8,692	111,501
計	242,097	130,596	

イ 令和 2 年度事業執行状況

(単位：千円)

	市町村社協		県社協	計
	件数	金額		
助成金	2	2,260	—	2,260
事業費	—	—	6,432	6,432
計	2	2,260	6,432	8,692

③ ボランティア・市民活動センター事業 [地域福祉企画部]

ア 東日本大震災等からの復興支援

ホームページ及びFacebookを活用した災害支援活動情報の発信を行ったほか、活動希望者・団体等と被災地ボランティアセンターのコーディネートを実施した。

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

参加機関打合せ：1月15日ほか書面協議2回

計画検討会：8月18日

ウ 災害ボランティアセンター設置運営研修等支援

(ア) 地域の「受援力」実態調査の実施

調査対象：市町村災害（防災）ボランティア担当課

回収結果：33市町村へ配布、23市町村から回収（回収率69.7%）

(イ) 災害時に生きる三者連携を目指す研修会の開催

（いわてNPO災害支援ネットワーク及びNPO法人いわて連携復興センターと共催）

期日、会場、参加者：2月3日、盛岡・久慈・大槌・奥州会場のほかZoomによる個別の

参加、80人（行政職員、市町村社協職員、NPO団体職員等）

内容：講義「三者連携の必要性と、市町村単位の事例について」

三者連携の岩手県内の事例紹介「市町村社協の立場から」

「NPOとそのネットワークの立場から」

ワークショップ「各地域で三者連携を進めるには」

(ウ) 広域市町村ネットワーク連絡会議の開催

平時からの関係機関、関係者の「顔の見える関係」の構築を目指し、県内10広域で会議を開催した。

広域圏名	開催日	開催地	参加者
北上	9月14日	西和賀町	28人
釜石	9月15日	釜石市	19人
胆江	9月16日	奥州市	25人
県央	9月24日	盛岡市	35人
気仙	9月28日	陸前高田市	40人
宮古	9月30日	宮古市	19人
久慈	10月6日	久慈市	29人
二戸	10月16日	二戸市	24人
花巻・遠野	10月27日	花巻市	19人
一関	11月18日	平泉町	20人

(エ) 災害ボランティアセンター設置運営研修の実施

災害時において、市町村社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営されるよう、県内10広域で研修を実施した。なお、このうち2広域は、新型コロナウイルス感染の感染防止のため参集中止とし、研修資料送付の上、書類研修とした。

広域圏名	日時	開催地	参加者
釜石	10月13日	釜石市	36人
北上	10月25日	北上市	35人
久慈	11月5日	久慈市	32人
二戸	11月10日	二戸市	33人
胆江	11月12日	奥州市	51人
宮古	11月15日	宮古市	32人
気仙	11月25日	陸前高田市	38人
一関	12月13日	釜石市	42人
花巻・遠野	11月26日	研修資料を送付	
県央	12月2日		

④ 災害時広域支援ネットワーク(災害派遣福祉チーム)推進事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 事務局体制の強化

- ・マニュアルに基づく連絡訓練 (7月5日、2月15日)
- ・局内における派遣初動訓練 (7月5日、2月15日)

イ チーム員の養成 (県委託業務)

新規募集：今年度募集なし

登録研修：今年度実施なし

スキルアップ研修1：9月18日～20日 8人修了

スキルアップ研修2：10月2日～4日 20人修了

ウ 他県の研修会等でのシンポジスト、講師等対応

しがDWAT、日本災害医学会

⑤ 社会福祉施設等応援職員派遣調整事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

介護施設及び障がい福祉施設で働く職員等が新型コロナウイルス感染症に感染等することにより、職員が不足する施設等に他の施設から応援職員を派遣する。(感染者発生施設へ職員を派遣し職員が不足する施設への応援として実施)

ア 応援派遣登録施設・人数

介護施設 80施設、122人

障がい福祉施設 47施設、70人

イ 派遣要請

なし

2 住民の福祉活動の振興

(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

① ボランティア・市民活動センター事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 研修会の開催

(ア) ボランティア活動研究会の開催

期日、会場、参加者：7月30日、ふれあいランド岩手、29人（市町村社協職員等）

内容：講義「ホームページやSNSを活用した有効な情報発信をするには」

講義・演習「広報紙を活用した有効な情報発信をするには」

(イ) ボランティアコーディネーター研修会の開催

期日、会場、参加者：3月9日、ふれあいランド岩手、23人（市町村社協職員等）

内容：講義「地域の困りごとから考えるボランティアコーディネート術」

グループディスカッション「住民の期待に応えることができるボランティアコーディネートを考える」

(ウ) 暮らし支えるボランティアの集い

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

イ モデル事業の実施

(ア) 地域で育む福祉教育推進モデル事業

社協職員が、各地域の学校に対して、地域の協力を得た幅広い福祉活動が展開できるように支援するために、具体的な福祉教育プログラムを提案できる福祉教育の副読本「地域で育む福祉教育ハンドブック」を950部作成した。

県内市町村社協、県内行政及び教育関係機関等約730施設へ配布。

ウ 多様なボランティア機会の提供とボランティア活動への参加促進

(ア) 「2020ボランティア体験 in いわて」の実施

期間：7月1日～1月31日

プログラム提供施設数、プログラム数：15団体、18プログラム

参加者総数：897人

主な体験内容：施設利用者、保育園の子どもたちとの交流や、介助等の手伝い、施設行事
への参加、高齢者、障がい者宅の清掃・見守り活動

(イ) ボランティア出前講座の実施

対象：企業・各種団体・学校・市町村社協等

内容：ボランティア入門講話、キャップハンディ体験等

実績：5か所、275人参加

(ウ) いわて車いすフレンズ活動の支援（共同募金配分金事業）

県内工業高校7校の生徒が、破損等で使われなくなった車いすを修理・整備し、38台の車いすの整備が完了した。

a いわて車いすフレンズ整備技術講習会

7月から8月にかけて、県内各工業高校6校を訪問し、寄贈先の状況に関する講話、車いす修理、修理済み車いすの梱包作業を実施した。参加者は38人。

b 活動助成

1校当たり1万円、計6万円を助成

c 車いす輸送費のための使用済み切手・書き損じはがきの収集活動

令和2年度実績（累計）：164団体、36個人

(エ) 21世紀スノーバスターズプロジェクト（共同募金配分金事業）

12月から3月に、各地域のひとり暮らし高齢者や、障がい者等の冬期間の雪かきを支援する「スノーバスターズ」活動を充実させるための取組への支援を8市町村で実施した。

・活動助成

総額220,000円を8市町村9スノーバスターズの前年度活動実績に応じて助成

エ ボランティア団体の支援

(ア) 岩手県ボランティア団体連絡協議会総会

期日、会場、参加者：7月21日、ふれあいランド岩手、34人

内容：令和元年度事業報告、令和2年度事業計画案、情報交換

(イ) 市町村ボランティア連絡協議会総会への出席

期間、訪問実績：5月～6月、3市町3か所

内容：ボランティアセンター事業実施に係る連携強化、活動状況等の情報収集及び当該市町村社協ボランティアセンター支援

オ 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート

(ア) 寄付・寄贈に係るコーディネート及び寄贈式の実施7件

助成金・寄付金 総額115,700円

福祉巡回車1台、車いす61台、使用済み切手6.92kg+11,800枚

カ 情報発信

(ア) 県社協ホームページ及び「ずっとボランティアいわて」ホームページ

県内のボランティア活動、助成金情報、研修会等の案内を発信した。

(イ) 「岩手県社会福祉協議会災害関連情報ページFacebook」

災害ボランティアに関する活動情報等を発信した。

(ウ) 「いわてのNPO・ボランティア活動情報誌PIN - パイン」

年3回、9・12・3月に、ボランティアに関する基礎知識、ボランティア体験inいわて、ボランティア保険に関する寄稿を行った。

キ その他

(ア) 企画委員会

＜第1回＞ 期日、会場、参加者：12月16日、都南公民館、7人

内容：県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について（福祉教育副読本の作成、VCの広報力・県社協VCのHP改修、VC機能向上）

＜第2回＞ 期日、会場、参加者：2月26日、都南公民館、7人

内容：県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について（福祉教育副読本の作成、VCの広報力・県社協VCのホームページ改修、VC機能向上）

(イ) 運営委員会

期日、会場、参加者：3月4日、ふれあいランド岩手、13人

内容：県社協ボランティア・市民活動センター事業の実施状況について

令和3年度県社協ボランティア・市民活動センター事業の進め方について

(2) 情報発信機能の強化

① 機関紙「パートナー」発行及びホームページ等による情報発信事業 [総務部]

本会の機関紙「パートナー」を年6回（毎号5,000部）発行し、社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。

ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民が利用しやすい内容に充実・改善し、常に新しい情報の提供に努めた。（ホームページ年間アクセス回数：17.1万回）

3 福祉人材の養成と確保

(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援

① 社会福祉従事者等研修・資格取得講座 [福祉人材研修部]

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、ア～エは中止とした。

- ア 福祉施設のためのリスクマネジメント講座（中止）
- イ 社会福祉従事者新任職員研修会（中止）
- ウ 社会福祉従事者リーダー職員研修会（中止）
- エ 介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会（中止）
- オ 介護職員実務者研修通信課程

介護福祉士国家試験の受験資格の一つである介護職員実務者研修について、全国社会福祉協議会中央福祉学院が実施する通信課程のスクーリングを受託実施した。

【医療的ケアの実技演習】

期日、会場、受講者：8月26日～28日、ふれあいランド岩手、25人（修了者24人）

【介護過程Ⅲの面接授業】

期日、会場、受講者：9月17日、18日、10月7日～9日、10月22日、ふれあいランド岩手、23人（修了者21人）

カ 児童福祉施設職員等を対象とした児童虐待対応研修事業

児童福祉施設職員を対象に児童虐待への適切な対応や未然防止、関連機関との連携のための知識・技術を修得することにより、地域の子どもの最善の利益とその福祉の増進に資することを目的に岩手県から受託して実施した。

期日、会場、参加者：12月23日、アイーナ、40人

② 介護職員等医療的ケア研修事業 [福祉人材研修部]

ア 令和2年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号、第二号研修）指導者養成講習

期日、会場、参加者：【講義・演習】10月12日～13日、アイーナ 34人

【指導演習】 11月11日、12日、アイーナ 32人（修了者31人）

内容：介護職員等による医療的ケアの実施、研修カリキュラム、喀痰吸引のケア実施、経管栄養のケア実施、安全管理体制とリスクマネジメント等の講義及び演習

イ 令和2年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修）

（ア）基本研修（講義・演習）及び実地研修

期日、会場、参加者：【講義】8月8日、12日、17日～19日、9月29日～30日（水）、10月1日、アイーナ

【演習】11月10日～12日、アイーナ

【実地研修】11月25日～1月25日

所在する施設・事業所又は居宅 85人（修了者70人）

（イ）介護福祉士養成校等修了者であって、医療的ケア研修基本研修：講義及び演習の修了者を対象とした技術確認演習及び実地研修

期日、会場、参加者：【実地研修】9月15日～12月15日、施設・事業所又は居宅、123人（修了者114人）

ウ 令和2年度介護職員等医療的ケア研修（第三号研修・特定の者対象）

期日、会場、参加者：【実地研修】9月15日～11月15日、施設・事業所又は居宅、1人（修了者1人）

（2）福祉人材の確保とマッチングの強化

① 福祉人材センター運営事業 [福祉人材研修部]

ア 福祉人材無料職業紹介

「福祉人材情報システム」を運用し、無料職業紹介所として、求人求職のあっせんを中心にして事業を行った。求職者に対し、就職や資格取得に関する相談、福祉全般に関する情報提供を行ったほか、毎月第2土曜日（5月を除く）を相談日として開所し、利用促進を図った。また、社会福祉法の一部改正による離職した介護福祉士等の届出制度は、登録者の増を目的に各種の広報周知に努めた。

【求人・求職の実績】

年度	新規求人件数 (人)	新規求職件数 (人)	採用件数 (件)	求人求職相談件数 (件)
令和2年度	4,839	1,012	172	7,085
令和元年度	4,769	1,046	177	8,166
平成30年度	4,833	1,064	168	7,620
平成29年度	4,569	1,135	172	6,912

イ 各種会議・研修会への参加

（ア）業務・法令研修会

期日、会場：8月3日～9月4日（配信期間）、ふれあいランド岩手（オンライン研修）

（イ）福祉人材情報システム研修会

期日、会場：9月28日～12月28日（配信期間）、ふれあいランド岩手（オンライン研修）

（ウ）福祉人材センター全国連絡会議

期日、会場：10月13日、ふれあいランド岩手（オンライン会議）

（エ）北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議

期日、会場：9月7日、8日、山形市

※ 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

共通議題の意見集約8月21日

(才) 岩手県介護労働懇談会（介護労働安定センター岩手支部主催）

期日、会場：10月23日、岩手教育会館

(カ) いわてで働く推進協議会担当者会議

期日、会場：10月23日、1月29日、岩手教育会館

(キ) いわて就職氷河期世代活躍支援プラットホームにかかる事務担当打合せ会議

期日、会場：10月23日、1月29日、岩手教育会館

(ク) 福祉人材センター・バンク基幹職員会議

期日、会場：12月18日、ふれあいランド岩手（オンライン会議）

(ケ) 職業紹介責任者講習

期日、会場：3月4日、仙台市

(コ) 介護人材確保の雇用管理改善推進事業審査会

期日、会場：3月12日、岩手労働局（書面審査）

(サ) オンライン活用セミナー

期日、会場：3月19日、ふれあいランド岩手（オンライン研修）

ウ 主催会議

(ア) 福祉人材センター運営委員会

＜第1回＞ 期日、送付人数：7月、13人

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止し資料送付とした。

＜第2回＞ 期日、送付人数：3月、13人

第1回と同様、資料送付とした。

(イ) 福祉人材養成関係機関等連絡会議

期日、会場、参加者：8月3日、ふれあいランド岩手、11校11人（福祉人材養成校）

内容：新型コロナウイルス感染症による学生への影響と支援策について、小中高校生への福祉への関心を高めるための取組について、学生の就職先選択に有効な事業の促進について

エ 雇用関係給付金の取扱相談窓口の開設

制度の説明及び周知を行うとともに、制度対象者の手続を行った。

・特定求職者雇用開発助成金の申請 18件

内訳：高年齢者6件、生涯現役コース（65歳以上）4件、母子家庭の母等8件

オ 広報・啓発事業

(ア) 岩手県福祉人材センターのPR

来所相談者の増加を目的に、岩手県福祉人材センターオリジナルノベルティグッズ（マスクケース）を1,000部作成し、新規求職登録者へ配布した。

(イ) 求人情報紙・地域情報紙、マスメディア等を活用した広報事業

「情報紙ゆうゆう」「岩手日報ポラリス」「IBCラジオ」「エフエム岩手」「ラヂオ盛岡」「IGRいわて銀河鉄道車内」「東北本線車内」「岩手県交通車内」の広報を通じ、福祉の就職相談会の案内や岩手県福祉人材センター事業・介護人材マッチング支援事業を継続してPRした。

(ウ) 岩手県福祉人材センターホームページ

人材センターへの親しみやすさを重視し、閲覧方法の改善を目的にホームページの全面改修を行った。情報紙「エール」のバックナンバーをホームページ上で閲覧可能にし、各種事業もコンテンツ化したこと、事業案内、求人情報、利用案内、各種資料提供等を、より充実させて情報発信した。

(エ) 資料展示

岩手県福祉人材センター、岩手県保育士・保育所支援センター、介護人材マッチング支援事業の周知のため、いわて県民情報交流センターイーナ 6 階、NPO 活動交流センター主催の「N 活フェア」に、資料、ポスター等をパネル展示した（展示期間：11 月 11 日から 11 月 18 日）。

カ 「介護・保育・福祉の就職相談会」の開催

福祉の職場への就職希望者や学校の進路指導担当者等を対象に、福祉の職場の現状や就職に関する情報提供、福祉施設・事業所等との個別面談の場として 2 回開催した。

＜第 1 回＞ 期日、会場、参加者：9 月 5 日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING、事業所 38、参加者 86 人

内容：事業所 PR、先輩職員による体験発表、個別面談会

＜第 2 回＞ 期日、会場、参加者：12 月 26 日、岩手産業文化センター アピオ、事業所 90、参加者 139 人（いわて就職マッチングフェア V と併催）

内容：個別面談会

キ 事業所訪問

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、本年度の訪問を中止した。

ク 就職面接会、就職ガイダンス等への参加

- ・（公財）ふるさといわて定住財団（計 3 回）
- ・大船渡公共職業安定所・介護労働安定センター岩手支部・ジョブカフェいわて・岩手県中小企業団体中央会就職フェア、ガイダンス参加（計 5 回）
- ・二戸職業訓練協会・日建学院講師派遣（計 6 回）

ケ 福祉人材養成校でのガイダンス・相談会の実施

- ・岩手県立大学（1 回）
- ・岩手女子高校（1 回）
- ・盛岡医療福祉スポーツ専門学校（1 回）

コ 小学生・中学生・高校生を対象とした福祉のしごと紹介事業（出前講座）の開催

将来福祉・介護サービスの担い手となる若年層に、福祉人材の重要性と福祉の仕事の魅力を伝え、将来の進路選択につなげることを目的に、地域の福祉施設・事業所の職員を学校に派遣し講座を行った。（「出前講座」資料、小冊子作成）

実績：合計 25 校、25 回、1,383 人

内訳：小学校 16 校 664 人、中学校 7 校 666 人、高等学校 2 校 53 人

サ 介護福祉士等届出制度の推進

登録者 137 人（年間目標 41 人）

シ ふくしの仕事体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者に対し、障がい・児童分野の仕事への理解促進を図り、就

職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所におけるしごと体験事業を実施した。

実績：体験総数 延べ4人

② 介護人材マッチング支援事業 [福祉人材研修部]

本県における福祉・介護人材の確保を目的として、県内に7人のキャリア支援員を配置し、きめ細かな求職者への相談支援、福祉施設・介護事業所訪問による求人開拓、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言などの事業を行った。

ア キャリア支援員の配置及び活動拠点

盛岡市（2人）、奥州市、久慈市、釜石市、宮古市及び大船渡市（各1人）に計7人を配置
イ 事業実施内容 ※（ ）内は前年度実績

（ア）各ハローワーク、自治体等と連携した就労相談窓口の開設（定期的な相談日の開設出張相談、就職面接会等へ参加）及び臨時の相談対応

実施状況：求職者相談2,215（2,467）件、採用者数259（209）人

（イ）福祉施設・事業所の計画的巡回訪問と求人開拓

実施状況：事業所訪問489（567）件、新規事業所開拓数5（12）件
新規求人開拓数92（175）件

（ウ）各ハローワーク、自治体、市町村社協等関係機関の訪問

実施状況：731（894）件

（エ）介護職の潜在有資格者に対する福祉業界への再就職を支援する講座

開催地（8か所）：二戸、久慈、盛岡、北上、一関、宮古、釜石、大船渡

参加者：59（68）人

（オ）介護施設見学バスツアー

開催地（2か所）：県央1回（2回計画し、1回中止）11人、宮古1回9人

参加者：20（48）人

（カ）小規模事業所を対象とした合同面談会

開催地（6か所）：盛岡（2回）、久慈、一関、宮古、釜石、大船渡

参加状況：参加事業所33（46）、参加者103（119）人

（キ）小規模事業所合同研修会

開催地（9圏域）：二戸、久慈、盛岡、岩手中部、胆江、両磐、宮古、釜石、気仙

実施状況：27（27）回、参加事業所136（294）、参加者413（448）人

（ク）介護カフェ～はじめの一歩～（介護のしごと悩み相談会）

開催地（7か所）：久慈、盛岡、奥州、一関、宮古、釜石、大船渡

実施状況：8回（8）、参加者38（27）人

（ケ）介護入門研修会

開催地（1か所）：盛岡（2回）

参加者：25（38）人

ウ 各種会議・研修会への参加

（ア）業務・法令研修会

期日、会場：8月3日～9月4日（配信期間）、ふれあいランド岩手（オンライン研修）

(イ) 北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議

期日、会場：9月7日、8日、山形市

※ 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

共通議題の意見集約8月21日

(ウ) マッチング機能強化研修

期日、会場：11月20日、ふれあいランド岩手（Web参加、全国社会福祉協議会）

(エ) ブロック別マッチング機能強化研修

期日、会場：2月5日、宮古市社会福祉協議会（Web参加、山形県社会福祉協議会）

エ 介護の職場体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者等の福祉の仕事に対する理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所における日常業務の体験事業を実施した。

実績：体験総数59（76）人（平均41.88歳／体験日数2.35日）

介護の職場への就職者44（46）人（74.5%）

オ 情報紙の発行

県内の高齢者福祉施設・事業所向け情報紙「エール」を発行（年3回・各1,500部）した。

③ 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業 [福祉人材研修部]

県内の保育人材を確保するため、岩手県の委託事業として「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置。専任コーディネーター2人体制で、求人求職等ニーズ把握や保育士の就職相談等の支援を行った。特に、有資格者で現在働いていない潜在保育士の再就職に向けた支援に重点を置いて事業を実施した。

ア 保育士・保育所支援センター設置事業実績

	潜在保育士	その他保育士	保育所等	その他施設	計
マッチング	87件	21件			108件
相談件数	595件	252件	768件	57件	1,672件

※保育士・保育所支援センターの相談支援を経て保育士が就職した場合、マッチング成功としてカウント

イ 令和2年度児童福祉研修事業（保育士人材確保）

（ア）新任保育士（就業継続支援）研修会

期日、会場、参加者：9月3日、アイーナ、36人（規模を縮小して開催）

（イ）潜在保育士（再就職支援）研修会

期日、会場、参加者：10月20日、11月12日、1月19日 ふれあいランド岩手、34人

（規模を縮小して開催）

ウ 県内保育所訪問・自治体等の訪問

訪問回数：62回

エ 潜在保育士向けニュースレターの発行

発行回数：2回

オ ほいくしカフェの開催

潜在保育士の再就職を支援するため、ほいくしカフェを開催した。

＜第1回＞ 7月30日 ふれあいランド岩手、3人

<第2回> 9月10日 ハローワーク大船渡、2人
 <第3回> 9月11日 奥州市総合福祉センター、2人
 <第4回> 9月29日 一関保健センター、1人
 <第5回> 10月9日 ハローワーク釜石、1人
 <第6回> 10月28日 花北振興センター、5人
 <第7回> 12月3日 北上市総合福祉センター、1人
 <第8回> 12月8日 ふれあいランド岩手、6人 計8回 延べ21人

力 ほいくのしごと出張相談の実施

実施回数：29回（延べ30人）

キ 会議への参加

保育士・保育所支援センター実施福祉人材センター連絡会議

期日、会場：12月15日、オンライン開催

④ 介護等体験受入調整事業 [福祉経営支援部]

ア 介護等を体験した学生

	大学	短大	計
県内	23人	0人	23人
県外	6人	0人	6人
計	29人	0人	29人

イ 体験を受け付けた学校数

	大学	短大	計
県内	3校	0校	3校
県外	3校	0校	3校
計	6校	0校	6校

ウ 受け入れた施設数

12施設

（3）退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実

① 民間社会福祉事業職員共済事業 [総務部]

県内の民間社会福祉事業施設及び団体に勤務する職員の福利厚生を目的として本会が実施している民間社会福祉事業職員共済事業の財政運営の健全化を図るため、平成27年3月に策定した「積立水準回復計画」に基づき、事業の適正な運営に努めた。

総合利回りの目標は年率3.0%とし、令和2年12月末時点で5.88%の実績を上げていたことから、株価下落等のリスクを回避するため、令和3年1月以降、キャッシュ比率を引き上げた結果、最終の総合利回りは年率6.79%となった。

また、財政の状況を示す令和2年度末現在の責任準備金率は前年度から3.74ポイント増加して75.09%となり、積立水準回復計画による「金融機関による收支予測計算の結果」、令和2年度の76%を0.91ポイント下回った。

ア 加入及び会費受入れ・給付状況

令和2年度末 加入状況		令和2年度における会費受入・給付状況 (百万円)			
加入施設団体	加入人数	会費収入	給付金	(内訳)	
				退会給付金	慶弔見舞金
747	13,130人	1,801	1,533	1,526	7

イ 資産の状況

(ア) 資産運用内訳

(単位: 百万円)

		国内		外国		その他 資産	短期 資産	普通 預金	計
		債券	株式	債券	株式				
三菱 UFJ 信託 銀行	単独運用 指定包括 信託	2,173 (31.3%)	881 (12.8%)	1,741 (25.1%)	433 (6.2%)	136 (2.0%)	1,571 (22.6%)	—	6,935 (100.0%)
	特定包括 信託	—	—	108	—	—	—	—	108
	指定金銭 信託以外 の金銭の 信託	—	—	—	—	—	6,900	—	6,900
岩手銀行ほか		—	—	—	—	—	—	1,219	1,219
合 計		2,173	881	1,849	433	136	8,471	1,219	15,162

(イ) 資産運用の増減内訳

(単位: 百万円)

信託区分	前期末残高 (A)	期中追加額 (B)	期末時価残高 (C)	期中評価損益 (C)-(A+B)
単独運用指定包括信託	12,991	▲6,900	6,935	844
特定包括信託	106	0	108	2
指定金銭信託以外の金 銭の信託	0	6,900	6,900	0
合 計	13,097	0	13,943	846

※期末時価残高に未収収益 16 百万円は含まれない。

(ウ) 運用收益率 (信託報酬控除前)

(単位: 百万円)

信託区分	実現利回り		総合利回り		修正 総合利回り
	実現損益	利回り	総合損益	利回り	利回り
単独運用指定包括信託	592	4.58%	874	6.77%	6.79%
特定包括信託	2	1.79%	2	1.79%	1.79%
指定金銭信託以外の金 銭の信託	0	0.00%	0	0.00%	0.00%
合 計	594	—	876	—	—

※信託報酬は 36.8 百万円

(エ) これまでの運用実績 (単独運用指定包括信託・信託報酬控除前)

(年率)

年度	H27	H28	H29	H30	R 01	R 02
総合利回り	△2.52%	0.62%	0.83%	1.08%	0.12%	6.79%

ウ 財政状況

(単位:百万円)

年度	H27	H28	H29	H30	R 01	R 02
責任準備金 A	17,776	18,258	18,869	19,523	19,759	20,232
積立金 B	12,643	12,963	13,548	13,948	14,098	15,192
差額 B-A	△5,133	△5,295	△5,321	△5,575	△5,661	△5,040
責任準備金率 B÷A	71.13%	71.00%	71.80%	71.44%	71.35%	75.09%

※責任準備金率: 将来の給付のため現時点で保有しなければならない積立金に対する積立率

積立金には、未収会費 30.2 百万円及び貸付金残高 0.9 百万円を含む。

エ 積立水準回復計画

(ア) 会費の引上げ

- 会費及び事業主負担額を現行の 1000 分の 50 から 1000 分の 57.5 に引上げ (平成 27 年 7 月 1 日から実施)

(イ) 給付事業の見直し

- 慶弔見舞金のうち、死亡弔慰金の本人給付額を減額し、配偶者死亡の場合の給付を廃止 (平成 27 年 4 月 1 日から実施)
- 健康管理助成金及び生活融資金事業を廃止 (平成 28 年 3 月 31 日をもって廃止)

(ウ) 資産運用の経費の節減

- 資産運用リスクをできる限り回避し、目標運用利回り 3% の達成と、運営事務費 (人件費、事務諸費) の節減に引き続き努める

(エ) 計画の期間

- 平成 27 年度から 30 年間

(オ) 定期検証の実施

- 毎年度末の責任準備金率と「金融機関による収支予測計算の結果」の積立比率を比較のうえ定期検証を実施

(カ) 計画の変更

- 計画実施後 3 年毎に定期検証時点での責任準備金率が「金融機関による収支予測計算の結果」の当該年度の【積立比率】を 0.1 ポイント以上下回った場合は、その翌年度の 7 月以降の会費は 1000 分の 57.5 から 1000 分の 60 に引上げ

② 福利厚生センター受託事業 [総務部]

ア 未加入及び新規加入事業所へ事業 PR の実施

いわて福祉だより (パートナー) に事業案内を掲載するなどして PR を図った。

年度	H28	H29	H30	R 1	R 2
会員数 (人)	4,166	4,323	4,190	4,005	3,942

イ 福利厚生企画・情報会議の実施

期日、会場: 10 月 1 日、ふれあいランド岩手

3月（書面開催）

内容：加入法人・事業所の施設長、職員等による企画・情報会員8人、福利厚生推進員5人
にて魅力ある会員交流事業の企画協議

ウ 福利厚生センター会員交流事業の実施

事業内容	参加者数
グルメ交流会 in 北上 ソウェルクラブ会員様特別コース！ 「本格鉄板焼きでいただく魚介と特選牛ステーキ」(12月1日～2月28日)	115人
アートホテル盛岡御食事券購入(12月1日～2月28日)	88人
釜石～日本料理『下鴨』豪華御膳～ 人気店の豪華お料理をティクアウトグルメで楽しもう！(12月19日)	26人
久慈市内飲食店御食事券購入助成(1月4日～3月31日)	92人
県南ブランド牛購入助成(1月～3月31日)	100人
釜石～日本料理店『和の膳 みや川』～ ソウェルクラブ会員様特別豪華和食コースを「自分時間」で楽しもう！ (1月22日～2月27日)	29人
映画鑑賞割引助成事業(11月1日～1月31日)	383人
スキー＆スノーボードリフト券購入助成事業(シーズン開始～終了)	785枚
日帰り温泉入浴券購入助成事業(11月～3月31日)	210枚

4 社会福祉事業経営の支援

（1）社会福祉事業経営の支援

① 社会福祉経営サポート事業 [福祉経営支援部]

ア 経営支援研修会の開催

期日、会場：12月10日、シーパル大船渡

参加者：16法人（うち小規模法人等3法人、経営協非会員4法人）、23人

内容：事業継続計画の作成に関する講義

イ 地域公益活動推進セミナーの開催

期日、会場：12月10日、シーパル大船渡

参加者：16法人（うち小規模法人等3法人、経営協非会員4法人）、23人

内容：社会福祉法人による地域共生社会の推進と地域公益活動に関する講義

ウ 税理士等による社会福祉法人経営説明・相談会

期日、会場：12月10日、シーパル大船渡

参加者：2法人（うち小規模法人等1法人、経営協非会員1法人）

エ 経営相談の実施

一般相談 16件

オ 社会福祉法人に関するアンケート調査の実施

調査基準日 1月1日

回収率 59.1%

調査項目の追加 地域における公益的な取組の実施状況、法人経営の状況等について

② いわて障がい者就労支援復興センター運営事業 [福祉経営支援部]

ア 被災沿岸市町村にある事業所の運営体制の安定化、商品力向上、販路拡大や新規立上げに向けた支援

(ア) 専門アドバイザー派遣による事業所個別支援

専門アドバイザーを8事業所に延べ19回派遣

- ・商品のラベルデザインアドバイス 3回
- ・農業技術支援 2回
- ・衛生管理状況検査及び改善アドバイス 14回

(イ) 事業所の課題に対応する事業所単位等の研修会の開催

研修会の開催 2回実施 (延べ22事業所、61人参加)

- ・本会企画 1回 : クレーム対応研修 (動画配信)、配信期間:3月11日～3月23日
- ・事業所単位 1回 : 2月20日、陸前高田市

本会職員による個別対応 12回

4月3日 宮古市、4月23日 山田町、5月27日 山田町、釜石市、

5月28日 大船渡市、8月6日 大船渡市、12月4日 宮古市、12月18日 宮古市、

2月25日 山田町、3月5日 山田町、3月5日 宮古市、3月13日 山田町

イ 被災地障がい福祉サービス事業所生産活動支援事業受託事業所と連携した新製品の開発や販路拡大の取組による利用者の賃金・工賃の向上支援

(ア) 県社協共同受注センターを通じた商品販売促進

久慈圏域: あすリード本舗、みずき園

宮古圏域: みやこワーク・ステーション、イーハトーブとりもと、SELP わかたけ、ワークプラザみやこ、ハックの家、宮古アビリティセンター、ジョブ・パートナー山田

釜石圏域: かまいしワーク・ステーション、わらび学園、

気仙圏域: あすなろホーム、朋友館、星雲工房、慈愛福祉学園、@かたつむり、せせらぎ

(イ) 県社協共同受注センターによる各事業所商品の販売状況

10,586,568円

(ウ) 被災沿岸市町村にある事業所と県内の被災沿岸市町村以外の市町村にある事業所等との組合せ又は共同作業による商品開発や共同生産、生産力向上の支援

a るんびにい美術館 (花巻市) とカリ一亭 (宮古市) との協働によるネクスグループ「黄いろのトマトのキーマカレー」受託製造

1,597袋 431,231円

b えさしふれあい工房 (奥州市) とかまいしワーク・ステーション (釜石市) との協働による焼き菓子商品「橋野鉄鉱山クッキー」の継続販売

4枚入り : 119箱 54,260円

10枚入り : 1,053箱 1,137,240円

ウ 企業、官公庁、消費者に対する事業所の自主生産製品及び請負作業の受注の支援

(ア) 沿岸部事業所の自主生産製品の受注支援 (共同受注センター取扱い)

41件 574,226円

(イ) 請負作業受注支援（共同受注センター取扱い）

42 件 2,304,108 円

エ 事業所の自主生産製品の P R、販売イベントの企画、情報提供

青山日曜朝市、み～んな笑顔の福祉フェア、福祉パンク大市のほか 10 イベントで、沿岸市町村の延べ 28 事業所が直接販売又は本会等への委託販売により製品を販売した。

売上額 322,931 円（本会受託販売分を含む）。

オ 上記ア～ウを達成するために必要な調査、課題把握

改正食品衛生法の令和 3 年 6 月 1 日日本格施行を踏まえ、他団体等が実施する研修事業の案内、情報提供を行った。

また、各事業所で実施している衛生管理の実践状況の確認、改善を行うアドバイザー派遣を行うとともに、本会職員が事業所を訪問し、HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実践に向けた提案を実施した。

③ 共同受注窓口事業 [福祉経営支援部]

取扱売上高 38,572,890 円

ア 令和 3 年 3 月末の加入事業所 89 事業所（重複契約あり）

販売契約 57 事業所

役務・請負契約 75 事業所

イ 商品販売売上総額 21,022,958 円

常設店舗、ネットショップ等での販売

主な販売先：イオンスーパーセンター、イオンリテール、マイヤ、乃村工藝社、岩手県庁生協、釜石振興開発、岩手空港ターミナルビル、岩手県自動車整備商工組合のほか、県内外の官公庁、企業、福祉事業所等

ウ 日本セルフセンター福祉施設向け商品販売売上総額 583,802 円

エ 役務・請負委託業務の受注 受注総額 15,570,384 円

（ア）役務・請負委託業務の受注

官公庁、本会種別協議会を中心に、93 業務 8,824,446 円を受注

（イ）農業に関する作業（農福連携）業務の受注

りんご栽培、野菜の水耕栽培等に係る業務を受注 8 業務 6,327,507 円

（ウ）企業からの継続的な役務・請負業務の受注

通年で 6 業務を 6 事業所が受注 受注額 412,931 円

（エ）事業所の紹介

チラシポスティング業務の発注企業と受注事業所のマッチング 5,500 円

オ イベントでの出店販売

13 イベントに、延べ 91 事業所が出店販売又は本会が受託販売等を実施 売上 1,395,746 円

④ 岩手県障がい者農福連携事業 [福祉経営支援部]

ア 農業者と障がい者就労施設による施設外就労のマッチング支援

マッチング件数 21 件

イ 農業関係者向け研修会の実施

開催回数 11回、参加者数 195人

・本会企画研修 5回、163人

・本会職員のアドバイザー対応 6回

7月3日 釜石市、9月15日 花巻市、1月7日 紫波町、1月21日 矢巾町、

2月26日 矢巾町、3月3日 矢巾町

ウ 施設職員向け農業者セミナーの開催

・基礎セミナー 4回 参加者数 13人

※ 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、県南圏域でのセミナーを中止し、中止分を農業者、障がい者就労支援事業所が、中間支援団体で振り返りを行い、アドバイス等を得る機会である検証会議に振り替え開催

・専門セミナー 1コース (さつまいも及びブロッコリー栽培方法 全7回

参加者数 延べ33事業所、36人

・事業所の依頼に基づく講師派遣及び本会職員のアドバイス実施

講師派遣 3回：12月10日 花巻市、1月26日 花巻市、2月26日 花巻市

本会職員のアドバイス 1回：1月7日 紫波町

エ 特別支援学校で説明会の開催

実施回数 13回 (実施校数 12校、対象を農業従事者に切り替えて実施分1回)

参加者数 285人

※ 花巻清風支援学校では、独自に地域農家の協力を得て、コミュニティ・スクールとして地域連携プログラムを実施しており、本説明会の開催希望がなかったため、この分については農業関係者対象の説明会に変更して開催

オ 農福連携マルシェの開催

開催回数 1回 (開催日数 2日間)

販売方法 本会受託販売 (出品事業所数 7事業所)

来場者数 200人 (推定)

売上額 80,356円

⑤ 水産加工・障がい福祉マッチング事業 [福祉経営支援部]

ア 水産加工業の作業の中で、障がい福祉サービス事業所が請け負える作業の抽出
令和元年度事業で調査、取りまとめた作業一覧の更新を行った。

イ 障がい者雇用に関心のある水産加工業者の掘り起こし

(ア) 関係機関への事業説明及び水産加工業者への事業周知の協力依頼

○岩手大学釜石サテライト (5月15日)

○岩手県水産技術センター (5月26日)

○岩手県沿岸広域振興局 (5月26日)

○岩手県県北広域振興局 (7月7日)

(イ) 水産加工業者訪問

○久慈圏域水産加工業者への訪問による事業説明等

(6月23日～3月16日、3社、延べ11回)

○宮古圏域水産加工業者への訪問による事業説明等

(4月6日～3月9日、16社、延べ42回)

○釜石圏域水産加工業者への訪問による事業説明等

(5月26日～2月2日、9社、延べ19回)

○大船渡圏域水産加工業者への訪問による事業説明等

(4月1日～3月4日、23社、延べ56回)

(ウ) 水産加工工場見学等の受入調整

受入調整 5社 (5事業所の見学を受入)

(エ) 作業委託の意向又は可能性がある水産加工業者 (令和元年度からの継続訪問含む)

8社を継続して訪問

ウ 水産加工業の作業について請負を希望する障がい福祉サービス事業所の掘り起こし

32事業所を延べ125回訪問し、作業内容等の希望等をヒアリングしながら、水産加工業者とのマッチングに取り組んだ。

エ 水産加工業者とのマッチング

マッチング件数 3件

オ 水産加工業者と障がい福祉サービス事業所が抱える課題の抽出と整理

水産加工業者や障がい福祉サービス事業所への訪問の際、各々が抱える課題をヒアリングにより抽出し、県復興局と共有。

(2) 適正なサービス評価の実施

① 福祉サービス第三者評価事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

岩手県福祉サービス第三者評価機関として、県内外の福祉施設の評価を実施したほか、評価者養成研修会等を実施した。

ア 第三者評価の実施

9事業所

高齢者施設1か所、障がい児(者)施設4か所、社会的養護関係施設1か所、保育所1か所、

救護施設2か所

イ 会議の開催

(ア) 事前合議、合議、決定委員会 各9回開催

(イ) 運営等検討会議の開催 (事前合議の導入、コロナ対応等について検討)

期日、会場：9月14日、ふれあいランド岩手

ウ 研修会の開催

(ア) 第三者評価調査者養成研修会 (岩手県知事承認研修)

期日、会場、参加者：8月4～5日、10月1～2日、15日、都南文化会館及びふれあいランド岩手、7人

内容：新型コロナの影響で施設訪問による実習の代わりに、模擬ヒアリングや演習を実施。

最終日に7人全員へ修了証を交付した。

(イ) 福祉施設の自己評価・第三者評価研修会

期日、会場、参加者：8月4日、5日、都南文化会館、16事業所、18人

(ウ) 評価調査者スキルアップ研修会（評価調査者の会との共催研修）

期日、会場、参加者：7月27日、ふれあいランド岩手、41人

5 多様な組織等との連携協働

(1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組とサービス利用者の福祉 増進

① 社会福祉協議会部会事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 幹事会

期日、会場：第1回（書面審議）、2月19日、ふれあいランド岩手

イ 監査

期日、会場：5月11日、ふれあいランド岩手

ウ 理事会

期日、会場：第1回（書面審議）、3月1日、ふれあいランド岩手

エ 総会

期日、会場：3月18日、ふれあいランド岩手

オ 調査事業の実施

市町村社会福祉協議会役職員名簿、社協の概要、市町村社協福祉サービス等実施状況調査報告書、社協運営に関するアンケート、WEB会議ツール導入状況調査、社協経営の取組に関するアンケート調査

※ 懇談会及び研究会の開催、研修の実施等については2ページから4ページを参照

② 種別協議会活動推進事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 社会福祉法人経営者協議会

(ア) 会議の開催

a 総会（書面決議）

期日：3月

b 幹事会

期日、会場：4月（書面決議）

7月3日、ふれあいランド岩手

2月10日、県民会館

3月（書面決議）

c 正副会長会議

期日、会場：1月6日、Web・ふれあいランド岩手

2月1日、Web・ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の開催

a あんしんサポート相談員養成研修

期日、会場、参加者：1月28日、岩手県民会館、28人

- 内容：あんしんサポート相談員の養成
- b 社会福祉法人経営セミナー
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
 - c 生活困窮者支援研修会（あんしんサポート相談員スキルアップ研修会）
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
 - d 中長期経営計画策定セミナー
期日、会場、参加者：1月 25 日、ふれあいランド岩手、38 人
内容：中長期経営計画策定に関する講義等
 - e 管理者セミナー
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- (ウ) 関係機関団体との連携
- a 北海道・東北ブロック協議会会長会議
期日、会場：7月 30 日、TKP ガーデンシティ仙台
9月 15 日、Web 会議
11月 17 日、Web 会議
12月 17 日、Web 会議
2月 19 日、Web 会議
 - b 北海道・東北ブロックセミナー青森大会
期日、会場：10月 7 日、ウェディングプラザアラスカ
 - c 全国社会福祉施設経営者大会
Web 配信
 - d 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策に係る要望書の提出
期日、会場：7月 9 日、岩手県庁
- イ 高齢者福祉協議会
- (ア) 会議の開催
- a 総会（書面決議）
期日、会場：3月
 - b 幹事会
期日、会場：8月 21 日、ふれあいランド岩手
2月 19 日、Web 会議
 - c 正副会長会議
期日、会場：2月 12 日、Web 会議
- (イ) 研修会の開催
- a 令和 2 年度東北ブロック老人福祉施設研究会
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため令和 3 年度へ延期
 - b 令和 2 年度いわて福祉施設職員研修会
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
 - c 令和 2 年度岩手介護施設等合同入職式
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

d 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策セミナー

期日、会場、参加者：10月29日、岩手産業文化センターアピオ、高齢者施設74人

11月5日、宮古市総合福祉センター、高齢者施設21人

(ウ) 委員会の開催

21世紀委員会

期日、会場：9月28日、ふれあいランド岩手

(エ) 部会の開催

養護老人ホーム部会

期日、会場：7月22日、アイーナ

(オ) 関係機関・団体との連携

社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策に係る要望書の提出

期日、会場：7月9日、岩手県庁

※ 岩手県介護老人保健施設協会、岩手県地域密着型サービス協会と合同で実施

ウ 障がい者福祉協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月12日、アートホテル盛岡

b 幹事会

期日、会場：6月24日、アートホテル盛岡

2月17日、都南公民館

(イ) 研修会の開催

a 虐待防止と権利擁護に関する研修会（令和2年度総会と併催）

期日、会場、参加者：3月12日、アートホテル盛岡、79人

内容、講演「固有のニーズをもつ人の人権を考える～相模原障害者殺傷事件が問いかけるもの～」

金沢大学 名誉教授 井上 英夫 氏

b 精神障がい者支援研修会の開催

期日、会場、参加者：12月14日、ふれあいランド岩手、47人

内容、講義：・「地域と医療を「つなぐ」～精神科医の立場から～」

社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

精神科医師 鈴木 りほ 氏

c サービス管理責任者フォローアップ研修会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

d グループホームの世話を对象とした研修会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

e 役職員研修会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

f 研修参加費助成事業の実施

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

g 課題対応研修（新型コロナウイルス感染症の感染防止のため動画配信により実施）
配信期間、受講事業所数：7月1日～7月24日、23事業所
配信内容：「人手不足感解消」～『人がいない→時間がない→何もできない』今を打破せよ～

- ・第1講座「人手不足感解消の重要性と考え方」
- ・第2講座「人手不足感解消の具体的実施方法」
- ・第3講座「応用編：生産性概念・改善の導入」
- ・第4講座「まとめ：改善文化定着の急所とは」

株式会社S・Yワークス人材創造本部福祉活性化チーム

チームリーダー 田中 貴士 氏

h 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策セミナー
期日、会場、参加者：10月29日、岩手産業文化センターアピオ、障がい施設22人
11月5日、宮古市総合福祉センター、障がい施設11人

（ウ）委員会、部会の開催

a 研修委員会

期日、会場：7月30日、都南公民館

b 調査研究員会

期日、会場：7月21日、都南公民館

10月15日、ふれあいランド岩手

1月22日、ふれあいランド岩手

c 社会就労部会（動画配信により実施）

配信期間、受講事業所数：令和3年3月11日～23日、26事業所

配信内容：第1講座「品質／クレーム対応の考え方の確立」

第2講座「クレーム認識基準の革新とクレーム対応原則の構築」

第3講座「他社事例にみるクレーム対応マニュアルの作成方法」

株式会社S・Yワークス人材創造本部福祉活性化チーム

チームリーダー 田中 貴士 氏

共催：いわて障がい者就労支援振興センター、社会福祉法人岩手県社会福祉協議会共同
受注センター

d 障がい児支援部会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

e 障がい者生活支援部会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

エ 保育協議会

（ア）会議の開催

a 総会

期日：3月（書面議決）

b 常任委員会

期日、会場：4月（書面議決）、6月（書面議決）、8月28日、都南文化会館、

3月（書面議決）

c 正副会長会議

期日、会場：6月15日、12月2日、2月26日、ふれあいランド岩手ほか

(イ) 研修会の開催

a 岩手県保育研究大会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

b 実技講習会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

c 岩手県指定幼児教育分野保育士等キャリアアップ研修（花巻ブロック保育協／岩手県社協・保育協主催）

期日：8月4日、8月18日、8月26日、9月9日

会場、参加者：なはんプラザ、ホテルグランシェール花巻ほか

全部修了24人、一部修了5人

d 「令和2年度保育研究大会」研究テーマ研修会

期日、会場、参加者：12月7日、ふれあいランド岩手、25人

内容：発表原稿の作成及び発表の留意点についての講義、参考発表

※ 岩手県保育研究大会、実技講習会、岩手県保育指導者セミナーの開催は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(ウ) 部会、委員会の開催

a 専門委員会（調査研究・制度政策）

期日、会場：8月28日、都南文化会館

内容：広報作成、中期ビジョンの見直し等

※ 保育所長部会、保育者部会の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(エ) 他団体等との連携（北海道・東北ブロック保育協議会）

a 研修会

北海道・東北ブロック保育指導者セミナー、公立保育所等トップセミナー、北海道・東北ブロック保育協議会次世代リーダー研修会、保育士会リーダーセミナーの開催は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

b 北海道・東北ブロック保育研究大会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

c 保育協議会会長会議

<第1回> 期日、会場：10月14日、WEB会議

<第2回> 期日、会場：12月4日、WEB会議

<第3回> 期日、会場：2月1日、WEB会議

d 保育士会長会議

<第1回> 期日、会場：3月13日、WEB会議

※ 北海道・東北ブロック各道県保育協議会幹事会の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

才 児童福祉施設協議会

(ア) 会議の開催

a 幹事会

期日、会場：7月14日、3月4日、ふれあいランド岩手（WEB会議併用）

b 専門委員会

期日、会場：9月3日、ふれあいランド岩手

(イ) 会員情報ホームページの運営

ホームページによる施設情報の更新を行った。

(ウ) 県との意見情報交換会

期日、会場：7月14日、ふれあいランド岩手（第1回幹事会開催時に実施）

(エ) 研修会の開催

a 児童福祉施設職員研修会

b 施設間交流研修会（岩手県里親会共催）

c 児童福祉のしごと出前講座

※ 研修会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(オ) 研修参加への助成

研修助成事業として、3施設（日赤岩手乳児院、青雲荘、大洋学園）に対し、計79,000円を助成した。

カ 児童館・放課後児童クラブ協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月（書面議決）

b 幹事会

期日、会場：7月9日、ふれあいランド岩手

3月（書面議決）

c 正副会長会議

期日、会場：2月10日、ふれあいランド岩手

d 館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会

＜第1回＞ 期日、会場：7月9日、ふれあいランド岩手

内容：①委員長・副委員長の選任について

②令和2年度の事業推進等について

＜第2回＞ 期日、会場：3月5日、ふれあいランド岩手

内容：①会員施設における新型コロナウイルス感染症への対応に関する

アンケート調査結果について

②児童館活動の情報発信について

(イ) 研修会の開催

a 児童健全育成関係者レベルアップ研修会

＜第1回＞ 期日、会場：11月6日、アイーナ

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「安全指導・安全管理」、37人

<第2回> 期日、会場、: 1月22日、アイーナ

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「地域福祉活動」、51人

b 児童館職員等研修会

期日、会場：12月18日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「児童の発達理論」、60人

c 実技研修会

実施予定科目：児童厚生二級認定科目「ゲーム・運動遊び」、「救急法」

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(ウ) 助成事業の実施

各ブロック協議会活動助成

助成額度：71,000円 (10ブロック×1,000円×71施設数を助成)

(エ) いわて子どもあそび隊の活動

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため令和2年度活動休止

(2) 多様な組織等との連携協働の推進

① 事務受託団体支援事業

[総務部・地域福祉企画部・福祉経営支援部・福祉人材研修部]

ア 公益財団法人岩手県福祉基金

令和2年度事業計画に基づき 31件、6,338千円の助成を行ったほか、企業等から 14件 1,095,805円の寄付を基本財産に組み入れ、基本財産は1,139,794,471円となった。

[助成の内訳]

助成区分	件数	金額(千円)
1-① 社会福祉団体活動に対する助成	29件	5,392
1-② 社会福祉団体活動に対する助成(特別助成事業)	2件	946
2 社会福祉施設整備事業に関する助成	0件	0
3 社会福祉従事者研修事業に対する助成	0件	0
4 社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成	0件	0
計	31件	6,338

イ 岩手県里親会

(ア) 会議の開催

a 理事会

<第1回> (書面議決)

<第2回> 期日、会場：12月5日、マリオス

<第3回> 期日、会場：3月23日、ふれあいランド岩手

b 監査

期日、会場：6月23日、ふれあいランド岩手

c 役員会

<第1回> 期日、会場：4月7日、ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：7月10日、岩手県福祉総合相談センター

＜第3回＞ 期日、会場：9月27日、みちのく・みどり学園

(イ) 岩手県里親大会の開催

期日、会場、参加者：10月31日、ふれあいランド岩手、40人（縮小開催）

内容：岩手県知事感謝状贈呈、岩手県里親会会长表彰、体験発表

(ウ) 未委託里親交流研修会

期日、会場、参加者：9月27日、みちのく・みどり学園、26人

内容：学園紹介、施設見学、未委託里親情報交換会

(エ) 里親会交流研修会

期日、会場、参加者：12月5日、マリオス、28人（縮小開催）

内容：講義「喪失・トラウマ体験を抱えた子どもの心理～東日本大震災被災者支援を振りながら～」ほか

(オ) 広報紙の発行

「いわて里親通信（ニュースレター）」（10月）

「里親いわて第45号」の発行（300部）（3月）

(オ) 表彰の実施

- ・全国里親大会表彰（2組4人）
- ・岩手県社会福祉大会長表彰（5組7人）
- ・岩手県知事感謝状（5組10人）
- ・岩手県里親会長表彰（4組5人）
- ・岩手県里親会長感謝状（1団体）

(カ) 親族里親等支援事業（県委託事業）

a 里親サロン

期日、会場：8月～2月（全14回）、宮古市総合福祉センターほか

支援会員派遣人数：38人

延べ参加者数：24組24人

b 3地区合同交流研修会

期日、会場、参加者：9月19日、釜石情報交流センター、24人

内容：講義「東日本大震災と私と子ども」ほか

c 地区交流会

期日、会場：10月～12月（各地区1回）、魚河岸テラス（釜石市）ほか

支援会員派遣人数：14人

延べ参加者数：16人

(キ) 里親制度普及啓発キャンペーン

期日、会場：10月16日、イオンモール盛岡南、8人

内容：「里親の日」チラシ配布

ウ 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

(ア) 会議の開催

a 総会（書面議決）

期日：3月

b 理事会

期日、会場：6月26日、12月24日、3月4日、ふれあいランド岩手

c 監査

期日、会場：6月26日、ふれあいランド岩手

e 調査研究委員会

期日、会場：1月22日、オンライン

(イ) 東日本大震災被災地への支援

岩手県災害福祉広域推進機構の構成団体として、研修会の周知、被災地支援体制に協力

(ウ) 調査研究活動

令和3年度の調査概要について検討

(オ) その他

a 広報活動

- ・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会ホームページを活用した情報提供
- ・広報発行「広報つながり vol.23・24」 高齢協合同発行（PDFによるメール配信に変更）

b 地区協議会活動の推進

4つの地区協議会の活動のために活動費 152,000円を交付

エ 岩手県知的障害者福祉協会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：7月8日、アートホテル盛岡

b 監査

期日、会場：6月16日、ふれあいランド岩手

c 理事会

期日、会場：6月16日、ふれあいランド岩手

7月8日、アートホテル盛岡

8月26日、都南公民館

12月9日、アートホテル盛岡

3月2日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修・指導

a 新任職員研修会

期日、会場、参加者：11月13日、アートホテル盛岡、51人

内容：講義「対人サービスの視点から接遇を考える」

社会福祉法人光寿会 理事長 太田 宣承 氏

講義「自閉症スペクトラム障がいの理解と支援」

岩手県知的障害者福祉協会 理事 山本 円

グループ討議「こんな時どうする？～仕事の困ったをみんなで共有～」

b 中堅研修会

新型コロナウィルス感染症の感染防止のため中止

c 岩手県知的障害者施設職員研修大会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

(ウ) 部会等の開催

a 部会及び支援スタッフ委員会連絡会議

期日、会場、参加者：7月8日、アートホテル盛岡、52人

内容：役員改選に係る部会及び支援スタッフ委員会代表者の選出

b 各部会の開催

・児童発達支援部会

第19回全国児童発達支援施設運営協議会（岩手大会）開催準備に向け、第18回協議会の視察を行うこととしていたが、開催が延期となった。

なお、児童発達支援部会所属施設を対象に、施設で抱える課題等についてアンケートを実施し、調査結果を3月10日にメール配信した。

・生産活動・就労支援部会

第1回

期日、会場、参加者：12月23日、オンライン開催、3事業所

内容：令和3年度障害福祉サービス等報酬改定の概要

コロナ禍における就労活動の状況に関する情報共有

第2回

期日、会場、参加者：2月25日、オンライン開催、6事業所

内容：令和3年度障がい福祉サービス等報酬改定について

(エ) 委員会

a 政策委員会

期日、会場：9月16日、ふれあいランド岩手

b 研修・事業委員会

期日、会場：9月15日、都南公民館

c 支援スタッフ委員会

・委員会

期日、会場：8月26日、都南公民館

10月7日、となんカナン事業所

11月6日、ルンビニー苑

(オ) 他団体等の連携

a 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課と障がい者関係団体との意見交換会への意見提出

b 日本知的障害者福祉協会との連携・協力

c 東北地区知的障害者福祉協会との連携・協力

(カ) その他

a 会員施設状況調査の実施

b その他各種調査・研究

・岩手県保健福祉部障がい保健福祉課との意見交換会に係る意見集約

・東北地区知的障害者福祉協会政策委員会令和3年度障害福祉サービス等報酬改定に向

けた意見提出

- c 広報・機関紙「県知福協ニュース」の発行（2回）
- d 職員研修費助成事業
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- e 第23回スポーツ交流会
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- f 岩手県知的障害児者サポート協会
会員数：2,176人

オ 東北地区社会就労センター協議会

（ア）会議の開催

- a 総会
期日、会場、出席者：8月（書面議決）
- b 監査
期日、会場：7月19日、ふれあいランド岩手
- c 正副会長会議
期日、会場：1月15日、オンライン会議
- d 役員会
期日、会場：7月（書面議決）、2月12日 オンライン会議

（イ）研修会等の開催

- a 施設長連絡会議
 - ・ 第1回（福島県）
次年度に延期
 - ・ 第2回（岩手県）
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- b 職員研修会
 - ・ 研修委員会（山形県）
次年度に延期
 - ・ 職員研修会（山形県）
次年度に延期

カ 東北ブロック老人福祉施設協議会

（ア）会議の開催

- a 総会
期日：8月（書面決議）
- b 監査
期日、会場：6月29日、ふれあいランド岩手
- c 理事会
<第1回> 7月（書面決議）
- d 常任理事会
<第1回> 4月（書面決議）

＜第2回＞ 5月（書面決議）

＜第3回＞ 10月20日、Web会議

＜第4回＞ 12月15日、Web会議

（イ）研修会等の開催

a 東北ブロック老人福祉施設大会（三大事業）

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため令和3年度へ延期

b 東北ブロック老人福祉施設研究会（三大事業）

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため令和3年度へ延期

c カントリーミーティング東北 in 青森（三大事業）

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

キ 一般社団法人岩手県介護福祉士会

（ア）会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：6月28日、キャラホール、27人（委任状223通）

内容：令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・予算、役員の選任

b 正副会長会議

＜第1回＞ 期日、会場：9月3日、WEB開催

＜第2回＞ 期日、会場：3月15日、WEB開催

c 理事会

＜第1回＞ 期日、会場：6月28日、キャラホール（改選前役員出席）

＜第2回＞ 期日、会場：6月28日、キャラホール（改選後役員出席）

＜第3回＞ 期日、会場：9月28日、WEB開催

＜第4回＞ 期日、会場：3月24日、WEB開催

d 監査

期日、会場：5月31日、ふれあいランド岩手

e 広報紙「かいご通信」の発行：1回

（イ）研修会の実施

a 岩手県社会福祉士会との合同研修会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

b 介護福祉士基本研修

期日、会場、参加者：7月13日、20日、27日、8月4日、ふれあいランド岩手、9人

c 実習指導者特別講習会

期日、会場、参加者：11月19日、20日、12月3日、4日、ふれあいランド岩手、30人

d 介護福祉士国家試験受験対策筆記模擬試験

期日、会場、参加者：11月30日、ふれあいランド岩手、26人

e 介護職種の技能実習指導員講習会

期日、会場、参加者：1月15日、マリオス、21人

f 新カリキュラム対応介護実習指導研修

期日、会場、参加者：2月4日、ふれあいランド岩手、24人

- g 倫理・災害ボランティア・現任者研修
※ 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
- h 令和2年度岩手県立大学社会福祉学部介護研修会（共催）
期日、会場：3月14日、WEB開催
内容：「認知症の人中心のケアと家族支援」
- J お悩みホットライン
期日、会場、参加者：毎月第2土曜日
- k 「介護の日フェスタ」の開催
期日、会場、参加者：11月7日、イオンモール盛岡南
内容：介護・福祉に関する展示及び福祉用具の展示
※ 新型コロナウイルス感染防止対策として、不特定多数の方との接触を極力避け
るため、展示と資料配架をメインとして行った。
- ク 岩手県介護支援専門員協会
 - (ア) 会務運営
 - a 定時総会
期日、会場、参加者：6月（書面議決）、有効数1,426通
内容：令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・予算
 - b 監査
期日、会場：5月19日、ふれあいランド岩手
 - c 理事会
 - <第1回> 期日、会場：5月（書面議決）
 - <第2回> 期日、会場：3月29日、岩手産業文化センターアピオ
 - d 役員会
 - <第1回> 期日、会場：10月28日、アイーナ
 - <第2回> 期日、会場：12月25日、WEB開催
 - e 正副会長会議
 - <第1回> 期日、会場：4月28日、ふれあいランド岩手
 - <第2回> 期日、会場：8月6日、WEB開催
 - (イ) 研修会の実施
 - a 定例研修会
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
 - b オンライン会議・研修の実施に係る勉強会
期日、会場、参加者：12月28日、株岩手ソフトウェアセンター、8人
内容：「Zoom使い方入門」
 - c 令和2年度在宅医療人材育成研修事業（2地区で開催）
期日、会場、参加者：（県全域）2月13日、アイーナ、102人
（胆江地区）3月6日、水沢地区センター、34人
釜石地区は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止
 - d 介護報酬改定に係る研修会

期日、会場、参加者：3月29日、岩手産業文化センターアピオ、123人
内容：「介護事業所における新型コロナウィルス感染症への対応について」
「令和3年度介護報酬改定について」

ヶ 岩手県ホームヘルパー協議会

(ア) 会務運営

a 監査

期日、会場：6月8日、ふれあいランド岩手

内容：令和元年度事業報告・収支決算、財産の管理状況

b 総会

方法、参加者：書面議決、提出46人（賛成46人）

内容：令和元年度事業報告・収支決算、令和2年度事業計画（案）・収支予算（案）、理事の選任、監事の選出

c 理事会

<第1回>

期日、会場：8月4日、ふれあいランド岩手

内容：会員の入退会状況報告、令和2年度事業内容・収支計画、当協議会への入会促進、令和3年度以降の事業運営及び収支の見通し

<第2回>

方法：書面開催

内容：令和2年度事業実施状況報告及び予算執行状況報告、令和3年度事業計画及び収支予算

(イ) 研修会の実施

a 岩手県ホームヘルパー協議会ホームヘルプセミナー

※ 新型コロナウィルス感染症の感染防止のため中止

b 現任者研修会

「訪問介護サービスにおける新型コロナウィルス感染症対策」をテーマに、盛岡市及び花巻市で開催予定であったが、県内の新型コロナウィルス感染者が増加したことから中止とした。全ての会員へ講師が作成した講義資料を送付した。

6 指定管理施設の管理運営

(1) ふれあいランド岩手の管理運営 [ふれあいランド岩手]

① 施設の利用状況

令和2年度の施設利用者数は、新型コロナウィルス感染症の感染防止のため、4月18日から5月10日までを全館休館としたこと等の影響により、135,322人と年間目標を下回った。平成6年の開館からの累計利用者数は5,619,993人となった。

ア 施設区分別利用状況

(単位：人)

区分	文化施設	スポーツ施設	合計
本年度	22,506	112,816	135,322
開館からの累計	1,486,682	4,133,311	5,619,993

イ 利用者区分別利用状況

(単位：人)

区分	障がい者	介護者	高齢者	学生等	一般	ボランティア	幼児
本年度	9,843	1,845	64,380	22,011	34,813	378	2,052
累計	512,868	87,733	1,490,986	971,634	2,334,373	51,019	171,380

② 教室等の開催状況

障がい者や高齢者等を中心としたスポーツ教室、文化教室を開催した。

ア スポーツ教室

障がい者の身体機能の向上を目的とした「リハビリ＆水中歩行教室」など 12 のスポーツ教室を延べ 194 回開催し、2,920 人が参加した。

イ 文化教室

障がい者や高齢者等、受講者間の交流を目的とした「ものづくり教室」など 5 の文化教室を延べ 17 回開催し、145 人が参加した。

③ 各種イベントの開催状況

ふれあいランド岩手の利用者、地域住民との交流を促進するため、利用団体などの協力を得て、各種イベントを開催した。

イベント名	開催日	参加者数
健康測定会	10月11日	27人
ふれあいスポーツフォーラム	12月20日	17人
さわやか交流水泳記録会	1月30日	19人
体組成測定会	2月25日	102人
さわやか交流卓球大会	3月7日	50人

④ 各種支援事業等の実施状況

地域と連携し、障がい者や高齢者への運動指導に携わる指導者に指導のノウハウを伝えるとともに、障がい者や高齢者等の利用者を対象として運動指導を実施した。また、スポーツ教室及び文化教室の修了者などによって結成された自主サークルの育成及び活動の支援に努めた。

- ・スポーツネットワーク事業 延べ 3回 参加者 29人
- ・リハビリテーション＆スポーツ指導等の集団指導 延べ 67回 参加者 1,066人
個別指導 延べ 624回 参加者 639人
- ・小学生等の福祉体験協力支援 7回 参加者 423人

⑤ ボランティアの養成等

「初心者手話教室」(5回開催、延べ 33 人参加) や「ワンポイント手話教室」(2回開催、延べ

16人参加）を開催するとともに、各種ボランティア団体の活動の場を提供するなど、その育成・支援に努めた。

⑥ 利用者・団体等のニーズの把握

利用者のニーズを把握し、施設運営等に資するため、施設内に「意見・提言ボックス」を設置するとともに、施設利用に関するアンケート調査を実施した。

7 県社協の活動基盤の強化

(1) 県社協財政基盤の適正化 [総務部]

① 自主財源の確保

企業、団体及び病院（1,609か所）に対し協賛金の協力を呼びかけるなどして自主財源の確保に努めた。

・入金実績：302件 3,418,000円（前年度 329件 3,634,000円）

② 経費の削減

見積り合わせの徹底などによる事務諸費（消耗品費、コピー機使用料、光熱水費、車輌燃料費、通信運搬費、PC等事務機器賃借料等）の削減に努めた。

・事務諸費総額 44,409千円（対前年度 2,319千円 5%減）

(2) 組織強化のための取組の推進 [総務部]

① 会計監査人の設置

会計監査人を設置して期中監査を受けるなどしてガバナンスの強化に努めた。

② 税理士等への業務委託

税理士や社会保険労務士等の専門家への業務委託の検討と個別業務においては適宜相談を行った。

③ 職員の育成

職員研修計画に基づき職員研修を実施するとともに、社会福祉士等資格取得を奨励し職員の資質向上を図った。（社会福祉士資格取得：1人、精神保健福祉士資格取得：1人）

④ 会員の拡大

新設施設等に対し会員加入を呼びかけ、会員の拡大を図った。（新規加入 13 施設法人）

8 会務の運営

(1) 理事会の開催 [総務部]

＜第1回＞ 開催日：6月9日

議 案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
令和元年度事業報告について
令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について
諸規程の一部改正について
令和 2 年度一般会計の補正予算について
評議員選任・解任委員会委員の選任について（補充選任）
評議員候補者の推薦について
評議員選任・解任委員会の招集について
評議員選任・解任委員会委員の選任について（次期任期の委員選任）
理事候補者の推薦について
評議員会の招集について

＜第 2 回＞ 開催日：7 月 21 日（決議の省略）
議 案：会計監査人の報酬について
第三者委員の選任について
提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日

＜第 3 回＞ 開催日：3 月 16 日
議 案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
諸規程の一部改正について
令和 2 年度一般会計及び生活福祉資金会計の補正予算について
令和 3 年度事業計画について
令和 3 年度一般会計及び生活福祉資金会計の予算について
評議員会の招集について

（2）評議員会の開催 [総務部]

＜第 1 回＞ 開催日：6 月 25 日
議 案：令和元年度事業報告について
令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について
令和 2 年度一般会計の補正予算について
理事の選任について

＜第 2 回＞ 開催日：3 月 25 日
議 案：令和 2 年度一般会計及び生活福祉資金会計の予算の補正について
令和 3 年度事業計画について
令和 3 年度一般会計及び生活福祉資金会計の予算について

（3）監事等による監査の実施 [総務部]

① 監事監査及び出納調査

＜第 1 回＞ 実施日：6 月 4 日
内 容：令和元年度第 4 四半期の出納調査及び決算監査
各会計における資金の管理運用の状況

令和元年度事業について
令和元年度収支決算について

＜第2回＞ 実施日：9月4日

内 容：第1四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

＜第3回＞ 実施日：11月19日

内 容：第2四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

＜第4回＞ 実施日：2月25日

内 容：第3四半期の出納調査

各会計における資金の管理運用の状況

② 会計監査人による監査

＜決算監査＞ 実施日：5月22日、25～27日

＜期中監査＞ 実施日：8月24・25日、10月21・22日、2月4・5日、3月25・26日

③ 内部監査

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第72条に基づき、内部監査人4人を選任し内部監査を実施

監査項目：
・小口現金、寄付金の状況
・資産管理の状況
・伝票と証拠書類の照合
・通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む）
・契約に関する書類確認
・その他、適宜監査の必要があるもの

実施日：6月1日、8月20日、11月5日、2月18日

9 岩手県社会福祉大会

岩手県社会福祉大会の開催 [地域福祉企画部]

期日、会場、参加者：10月30日、岩手県民会館大ホール、約400人

被表彰者数：553人、26団体、5組

岩手県知事表彰（39人、3団体）

岩手県知事感謝状（19人）

岩手県社会福祉大会長表彰（323人、23団体、5組）

岩手県社会福祉大会長褒賞（30人）

岩手県民生児童委員協議会会长表彰（142人）